

関西サイバーセキュリティ・ネットワークの取組 (関西SEC-net)

2026年3月

関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局

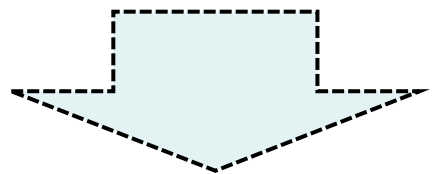
(近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)

1. 関西SEC-netの発足

1-1. 問題意識

<背景>

- IoTやAI等の第四次産業革命関連技術の登場により、あらゆる産業分野においてIT利活用が不可欠になる一方で、企業や団体等が保有する顧客の個人情報や重要な技術情報等を狙うサイバー攻撃は多様化。
- 近年は社会インフラ・産業基盤に物理的なダメージを与えるサイバー攻撃のリスクが増大し、海外においては既に他国家等からなされるサイバー攻撃により、社会インフラ・産業基盤の安全が脅かされる事案も発生。
- 政府は、2018年7月、「サイバーセキュリティ戦略」（新戦略）を閣議決定し、サイバーセキュリティの基本的な在り方として、実空間との一体化が進展しているサイバー空間の持続的な発展を目指す（「サイバーセキュリティエコシステム」の実現）という方針を掲げ、3つの観点（①サービス提供者の任務保証、②リスクマネジメント、③参加・連携・協働）からの取組を推進する方針。



サイバーセキュリティの重要性は今後ますます高まっていくと考えられる中、地方においても様々な課題が浮き彫りに。

<地方におけるサイバーセキュリティに関する課題例>

- (1) 人材の発掘・育成及び裾野拡大
- (2) 情報伝達及び機運醸成
- (3) 情報共有及び中小企業における対策の実装

1-2. 課題① 人材の発掘・育成及び裾野拡大

- サイバーセキュリティに対するニーズが増大する一方、労働人口の減少が見込まれる中、いかに十分なサイバーセキュリティ人材を育成し確保できるかは、日本の産業全体にとって重要な課題。しかし、サイバーセキュリティ人材の育成・確保は、質的・量的いずれの観点からも容易ではなく、地方においては一層厳しい状況。

(1) 人材育成する側の人材不足

- 地方においては、大学等におけるサイバーセキュリティ分野の専門家の数は限りがあり、また企業内で人材育成するための人的リソースやノウハウも不足しており、限られたリソースを共有できる仕組みが必要。

(2) ターゲットに適した人材育成プログラムの不足

- 実社会で発生する予測不可能なインシデント等に対しては、原理原則に立ち返りながら、現実的な解決策を導くことができるサイバーセキュリティ人材の存在が重要。大学等での教育のほか、民間団体や企業内での研修等が様々な実施されているが、ターゲットとなる人材に必要なプログラムを関係機関が補完しながら提供することが必要。

(3) 人材受入れ側の受入体制／受皿不足

- 地方の企業にとってサイバーセキュリティ人材に対するキャリアパスや処遇等を特別に整備することは容易ではないが、サイバーセキュリティの素養を持った人材が地方で就職しやすい環境の整備が必要。

(4) 人材育成される側と人材受入れ側のコミュニケーション機会不足

- 学生は、自らの能力を評価してくれる企業への就職や、自らのキャリアパスの不透明性の払拭等に関心。一方、人材受入れ側又は人材輩出側でもある企業にとっては、学生の能力評価や、自社が求める人材像に即した社員教育の実施等に関心。双方のコミュニケーション機会を増やし、ミスマッチが起りにくくすることが必要。

1-2. 課題② 情報交換及び機運醸成

- サイバーセキュリティについての情報が、地方の企業には必ずしも行き届いていないという状況が見られ、このいわば「サイバーセキュリティのラストワンマイル」に情報が行き着くよう配慮し、取組を推進することが必要。

(1) 地方の企業が情報をキャッチしやすい仕組みが限定的

- ・官民から数多く提供される情報が、より効果的・効率的に地方の個人や企業等に行き渡るつながりをつくるため、官民の関係者間のみならず、大学・高専や地域において活動するコミュニティとも、実質を伴う連携強化が必要。

(2) メディアを通じた情報発信頻度が限定的

- ・サイバーセキュリティについては、脅威情報や対応策、企業等の取組事例、国や自治体の施策等に関する最新情報を、タイムリーかつ分かりやすく、そして広く伝えるため、意識的にPR（パブリック・リレーションズ）に取り組むことが必要。

(3) セキュリティを経営課題として位置づける問題意識が限定的

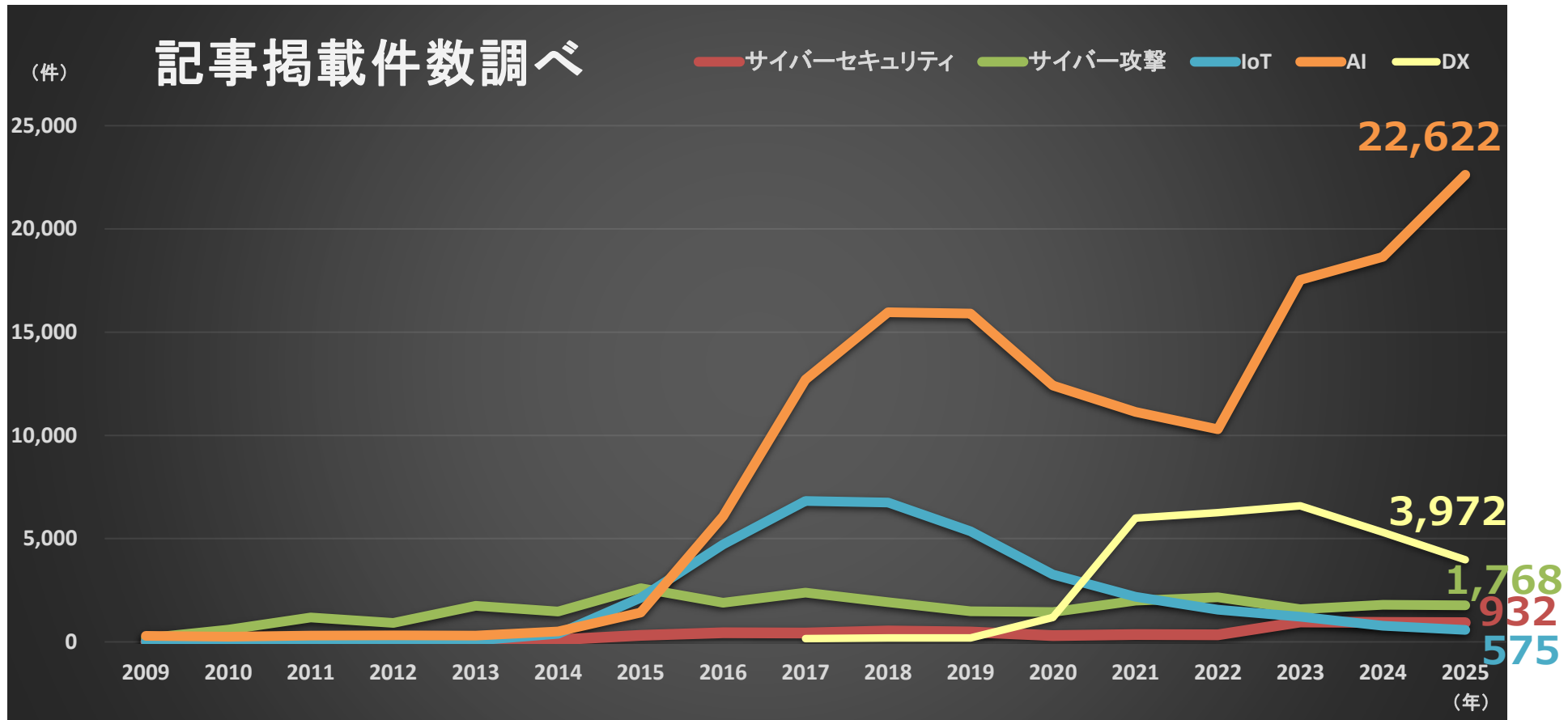
- ・大企業から中小企業まで、サイバーセキュリティが、価値創造や危機管理の観点から不可欠なものであり、経営課題そのものであるという認識を持って、企業経営者がサイバーセキュリティ対策に取り組むことが必要。

(4) 地方でセキュリティに取り組む企業及び個人の露出機会が限定的

- ・サイバーセキュリティ対策の機運が高くない地域においても、地域及び企業のサイバーセキュリティ対策に取り組んでいる企業及び個人は一定数存在すると考えられるが、そうした主体に光が当たる機会を増やすことが必要。

(参考) 記事掲載件数 (Connected Industries におけるキーワード)

- サイバーセキュリティのメディア掲載は、他のキーワードに比べて低調であり、情報が地域に行き届いていない。



- 手 法 : 日経テレコンにてキーワード記事検索
- 期 間 : 2009年1月1日～2024年12月31日
- 対 象 : 新聞 (全国5紙) (朝日、毎日、読売、産経、日経)、
新聞 (産業・経済) (日経産業、日刊工業、日経MJ、日経ヴェリタス)
ビジネス週刊誌 (日経ビジネス、Diamond WEEKLY (旧週刊ダイヤモンド)、週刊東洋経済、週刊エコノミスト、プレジデント)

(注意) 文字検索による単純集計値であるため、当該文字を含む単語が全て検出され、過大に集計された件数となっている可能性がある点に留意。

1-2. 課題③ 中小企業等における対策の実装

- **サプライチェーン全体としてのサイバーセキュリティをいかに確保するか**という観点は今後ますます重要。例えば、セキュリティ対策が十分でない**中小企業が踏み台となって、自社のみならず取引先までサイバー攻撃の影響が拡大するおそれがある**。こうした中小企業を含めた事業者が実際に対策を行いやすくするために、分かりやすい情報提供とともに、現実的に実施可能な対策をいかに講じていくかという視点が必要。

(1) 中小企業は自社も攻撃対象となっていることの認識が不足

- ・自社がサイバー攻撃を受けるとは考えていない中小企業は多い。しかし昨今では、自社が対策をしていないことで取引先に迷惑をかける可能性や、セキュリティ要件を満たさない事業者、製品、サービスはサプライチェーンからはじき出される可能性も指摘されており、中小企業もセキュリティ対策の重要性を認識することが必要。

(2) 中小企業がセキュリティに割けるリソースは限定的

- ・中小企業は大企業に比べてサイバーセキュリティに投じることができる人員や予算が限定的であるため、地域において中小企業のリソース不足を補完できる環境の整備が必要。

(3) 中小企業が取り組みやすい対応策やソリューションの情報不足

- ・中小企業が、日々アップデートされるサイバー攻撃の脅威等について情報収集し、自社で対策を講じることは容易ではないという現状を認識した上で、具体的に何から始めればよいのか、自社に適したソリューションは何かについての情報を分かりやすく提供し、中小企業のセキュリティ対策の実装を一步でも進めることが必要。

(参考) 中小企業に対するサイバー攻撃の実態調査

★大阪商工会議所

○サプライチェーンにおける取引先のサイバーセキュリティ対策等に関する調査結果 (2019年5月)

https://www.osaka.cci.or.jp/Chousa_Kenkyuu_Iken/press/190510sc.pdf

・有効回答数：全国の従業員100人以上の企業 118社

・ポイント：

- ① **大企業・中堅企業の約7割(68%)**は、「仕入・外注・委託先(買い先)」「販売・受注・受託先(売り先)」におけるサイバーセキュリティやサイバー攻撃被害について「**あまり把握していない**」。
- ② 「**取引先がサイバー攻撃被害を受け、それが自社に及んだ経験**」がある企業は**4社に1社(25%)**。その結果、「**情報漏洩(5社)**」、「**システムダウン(3社)**」、「**データ損壊(3社)**」など**実害も**出ている。

○平成30年度中小企業に対するサイバー攻撃実情調査(報告)(2019年7月)

https://www.osaka.cci.or.jp/Chousa_Kenkyuu_Iken/press/190703cyber.pdf

・協力企業数：大阪市内を中心とした多種多業種の中小企業 30社

・ポイント：

- ① **30社すべてにおいて何等かの不正な通信があった旨を示すアラート(警告)の記録(ログ)**があった。
- ② アラートのログを分析した結果、脆弱性(弱点)やポート(出入口)を狙って攻撃されている事例から、外部から社内の端末をリモート操作されているなど、大きく3つの種類のサイバー攻撃の実態が複数企業に対して確認された。
- ③ **今回のほとんどの協力企業では何等かのウイルス対策ソフトの導入ならびに運用がされていた。**

出典：大阪商工会議所プレスリリースより抜粋

★独立行政法人情報処理推進機構(IPA)

○令和4年度中小企業等に対するサイバー攻撃の実態調査(2023年4月)

<https://www.ipa.go.jp/security/reports/sme/cyberkogeki2022.html>

・協力企業数：経済安全保障上重要かつ重要産業である「半導体」、「自動車部品」、「航空部品」の3分野の中小企業40社、及び防衛装備庁よりの紹介企業3社 計43社

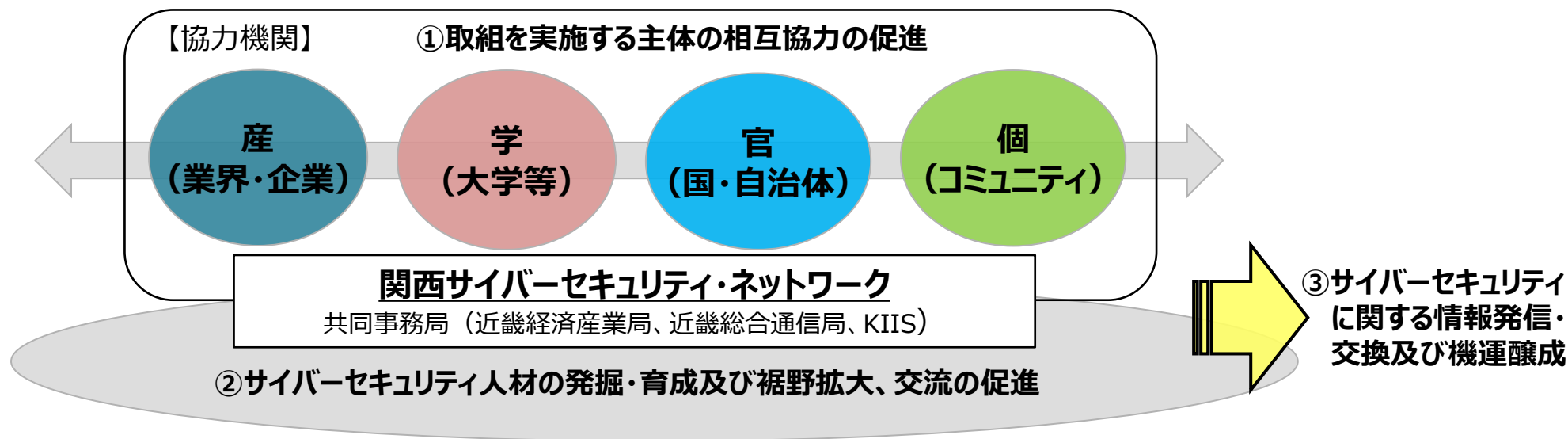
・ポイント：

- ① **既にUTMを設置している企業が多かったものの、アラートの確認はベンダ任せ**になっていることが確認できた。
- ② **特定産業分野のサプライチェーンに属する企業**ではインターネット側から攻撃が多く、内部侵入のきっかけになるような動作も多いことから、**リスクがより高いと考えられる状況**が確認された。

出典：独立行政法人情報処理推進機構(IPA)ホームページより抜粋

1-3. 取組方針

- 2018年10月、近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター(KIIS)が共同事務局となり、サイバーセキュリティ分野における関西の産学官等の相互協力を促進するため、「関西サイバーセキュリティ・ネットワーク」(関西SEC-net)を発足。
- 関西におけるセキュリティの推進基盤として、人材発掘・育成、情報交換、機運醸成の場を提供。サイバーセキュリティで重要な、「知る」ための取組を進める。



※原則として、産学官個の各主体が実施していない領域の取組を補完的に実施する

1-4. 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク体制

【協力機関】 ※2018年10月17日発足時（40機関）より順次拡大中。（順不同）78機関（2026年3月24日時点）

カテゴリ		主な機関等
産	業界団体・経済団体	関西経済連合会、関西経済同友会、大阪商工会議所、神戸商工会議所、京都商工会議所、関西ものづくりIoT推進連絡会議関係団体（21団体：IT・電気計測器・電子電機・電子部品）、近畿情報通信協議会、日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）西日本支部、ISACA（情報システムコントロール協会）大阪支部、産業横断サイバーセキュリティ人材育成検討会（CRIC CSF）、日本ケーブルテレビ連盟近畿支部、テレコムサービス協会近畿支部、サイバー関西プロジェクト
	セキュリティベンダー	神戸デジタル・ラボ、ファイア・アイ、ラック、エムオーテックス、大日本印刷、日本シノプス、バンクガード
	情報通信企業	NTT西日本、オージス総研、NEC、富士通、日立製作所、さくらインターネット、ケー・エス・ディー、日商エレクトロニクス、NTTデータ先端技術、さくらケーシーエス、三菱電機
	ユーザー企業	パナソニック、関西電力、大阪ガス、西日本旅客鉄道、ダイキン工業、日本放送協会大阪放送局、毎日放送、朝日放送テレビ、関西テレビ、読売テレビ放送
	その他企業	NHKテクノロジーズ大阪総支社、双日インシュアランス、SOMPOリスクマネジメント、トーマツ、三井住友海上火災保険
学	大学・大学院	神戸大学、兵庫県立大学、和歌山大学、大阪経済大学、立命館大学情報理工学部上原研究室、奈良先端科学技術大学院大学サイバーレジリエンス構成学研究室、近畿大学、福井大学、京都産業大学、神戸情報大学院大学
	研究機関	産業技術総合研究所（AIST）、情報通信研究機構（NICT）
	その他	OCA大阪デザイン&IT専門学校
官	国関係機関	国家サイバー統括室（NCO）、情報処理推進機構（IPA）、近畿管区警察局
	自治体	大阪府、兵庫県、滋賀県、徳島県、大阪市、神戸市、堺市、京都市、大阪府警察、和歌山県警察本部、兵庫県警察サイバーセキュリティ・捜査高度化センターサイバー企画課、福井県警察本部
	産学官連携	ITコンソーシアム京都
個	セキュリティコミュニティ	総関西サイバーセキュリティLT大会、OWASP Kansai、tktkセキュリティ勉強会

(参考) 政府の取組における関西SEC-netの位置付け

●サイバーセキュリティ戦略本部

○普及啓発・人材育成専門調査会

- ・『サイバーセキュリティ意識・行動強化プログラム～「参加・連携・協働」の実現を目指して』(2019年1月24日)
<https://www.cyber.go.jp/pdf/policy/kihon-1/awareness2019.pdf>(p.21-22)

●経済産業省

○産業サイバーセキュリティ研究会

- ・第3回 資料4「産業サイバーセキュリティの加速化指針～アクションプランの深化・拡大～」(2019年4月19日)
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sangyo_cyber/003.html (p.18)
- ・第5回 資料3「事務局区説明資料～アクションプランの持続的発展と、新領域へのチャレンジ～」(2020年6月30日)
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sangyo_cyber/005.html (p.46)

○産業サイバーセキュリティ研究会 ワーキンググループ2 (経営・人材・国際)

- ・第3回 資料3「事務局説明資料」(2018年11月9日)
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sangyo_cyber/wg_keiei/003.html (p.47-49)
- ・第4回 資料3「事務局説明資料」(2019年3月29日)
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sangyo_cyber/wg_keiei/004.html (p.49)
- ・第5回 資料3「事務局説明資料」(2020年1月15日)
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sangyo_cyber/wg_keiei/005.html (p.24)
- ・第6回 資料3「事務局説明資料」(2020年8月25日)
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sangyo_cyber/wg_keiei/006.html (p.23)
- ・第7回 資料3「事務局説明資料」(2021年2月18日)
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sangyo_cyber/wg_keiei/007.html (p.39)
- ・第8回 資料3「事務局説明資料」(2022年3月23日)
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sangyo_cyber/wg_keiei/008.html (p.71)

○産業サイバーセキュリティ研究会 ワーキンググループ3 (サイバーセキュリティビジネス化)

- ・第4回 資料3「事務局説明資料」(2019年8月2日)
https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/sangyo_cyber/wg_cybersecurity/004.html (p.34)

(参考) 政府の取組における関西SEC-netの位置付け

● 総務省

○サイバーセキュリティタスクフォース

- ・第21回 資料21-1「地域のセキュリティコミュニティの形成について」(2020年2月20日)
https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02cyber01_04000001_00098.html (p.3, p.7-8)
- ・第42回 資料42-2-1「関西サイバーセキュリティ・ネットワーク(地域SECURITY)の取組について」
(総務省近畿総合通信局) (2023年2月1日)
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/kenkyu/cybersecurity_taskforce/02cyber01_04000001_00228.html

● 新しい地方経済・生活環境創生本部

○地方創生2.0基本構想

- ・日本地図マッピング(地方創生2.0好事例の普遍化に向けて) (2025年6月13日)
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/atarashii_chihouseisei/pdf/20250613_mapping.pdf (p.5)

2. 2025年度の主な取組

主な取組項目

1. サイバーセキュリティ人材の発掘・育成

- サイバーセキュリティ演習in兵庫
経営者向けインシデント対応机上演習、システム・セキュリティ担当者向けリスク分析ワークショップ
- 学生向け「サイバーセキュリティ体験講座（入門編）」
- サイバーインシデント演習in京都・神戸
- サイバーセキュリティ・リレー講座（初級者向け）
- サイバーセキュリティ・トップセミナー
- セキュリティ・キャンプ2026ミニ（大阪開催）（公開講座/専門講座）

2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

- 中小企業向けサイバーセキュリティ対策セミナー
- サイバーセキュリティセミナー in 兵庫
- サイバーセキュリティ政策説明会 in 関西
- サイバーセキュリティ対策実践セミナー in 奈良
- サイバーセキュリティ・セミナーin京都
- AI時代におけるサイバーセキュリティセミナー
- DX・サイバーセキュリティ出前講座事業
- DX・サイバーセキュリティアドバイザ派遣事業

2-1. サイバーセキュリティ人材の発掘・育成

●サイバーセキュリティ演習in兵庫 経営者向けインシデント対応机上演習

企業においてセキュリティインシデントが発生した場合には、経営者は被害とその影響範囲を最小限に抑えて事業継続を確保する必要があり、そのためには予めの対応手順の整備や実際に発生した際の経営者による冷静で的確な対応が必要。サイバー攻撃によるセキュリティインシデントの対応（担当者への指示・判断、顧客対応等）について学ぶ演習を（公社）兵庫工業会、（公財）こうべ産業・就労支援財団と実施。

日時 2026年2月13日(金)10:00～13:00
会場 神戸市産業振興センター 802・803会議室
共催 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局
(近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター)、
(公社)兵庫工業会、(公財)こうべ産業・就労支援財団、
(独)情報処理推進機構
申込者 17名
講師 株式会社ブルーオーキッドコンサルティング 取締役 野村 陽子 氏



○使用教材

・中小企業のための
セキュリティインシデント
対応の手引き

<https://www.ipa.go.jp/security/guide/sme/about.html>

**サイバーセキュリティ演習in兵庫
経営者向けインシデント対応
机上演習**

参加形式 集合開催（定員：20名）
開催場所 神戸市産業振興センター8階
802/803
(神戸市中央区東川崎町1丁目8番4号
神戸ハーバーランド内)

対象 中小企業等の経営層
※関心がある方はどなたでも受講可能です。

共催 公益社団法人兵庫工業会、公益財団法人こうべ産業・就労支援財団、
関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局
(近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)、
独立行政法人情報処理推進機構

参加無料
2.13 金
10:00～13:00
(受付開始9:30)

プログラム

『経営者向け
インシデント対応机上演習』

サイバー攻撃を受けた場合の担当者への指示・判断、顧客対応等、
経営者が取るべきインシデント対応の一連の流れを体験できます。
ランサムウェアの感染時の初動対応や事前の備えに役立つ内容です。

講師：株式会社ブルーオーキッドコンサルティング
取締役 情報処理安全確保支援士・中小企業診断士
野村陽子氏

『DX支援事業のご紹介』

下記URLまたは右記二次元コードを
読み込みお申込ください。
申込期限：2月9日(日)23:59
<https://info.ipa.go.jp/form/pdx/application/semi-sec17>

お申込み
お問合せ

QRコード

〈セミナー運営事務局〉
株式会社船井総合研究所 担当：横山・園田
03-6684-5159
px-isec-seminar@ipa.go.jp

【個人情報の取扱い】ご提供いただいた個人情報は、事務局：船井総合研究所並びに共催者が、本セミナーの運営においてのみ使用し、事務局においてその保護について万全を期すとともに、ご本人の同意なしに事務局及び共催者、講師以外の第三者に開示、提供することはありません。

2-1. サイバーセキュリティ人材の発掘・育成

●サイバーセキュリティ演習in兵庫 システム・セキュリティ担当者向けリスク分析ワークショップ

企業を取り巻くリスクは、事業内容や職場環境、ITの利用状況などによって異なるため、リスクの高いものを特定し、優先順位付けしたリスク対策計画を立案することで効率的なセキュリティ対策を行うことが可能に。想定企業を舞台に情報資産の洗い出し、リスク値の算定、対策の検討といった詳細リスク分析について学ぶ演習を（公社）兵庫工業会、（公財）こうべ産業・就労支援財団と実施。

日時 2026年2月13日(金)14:00～17:00
会場 神戸市産業振興センター 802・803会議室
共催 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局
(近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター)、
(公社)兵庫工業会、(公財)こうべ産業・就労支援財団、
(独)情報処理推進機構
申込者 15名
講師 株式会社ブルーオーキッドコンサルティング 取締役 野村 陽子 氏



○使用教材

・中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン

<https://www.ipa.go.jp/security/guide/sme/about.html>

サイバーセキュリティ演習 in 兵庫 システム・セキュリティ担当者向け リスク分析ワークショップ

参加形式 集合開催（定員：40名）
開催場所 神戸市産業振興センター8階
802/803
(神戸市中央区東川崎町1丁目8番4号
神戸ハーバーランド内)
対象 中小企業のシステム担当者、IT担当者、
セキュリティ担当者
※関心がある方はどなたでも受講可能です。
共催 公益社団法人兵庫工業会、公益財団法人こうべ産業・就労支援財団、
関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局
(近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)、
独立行政法人情報処理推進機構

参加無料
2.13 金
14:00～17:00
(受付開始13:30)

プログラム

『システム・セキュリティ担当者向け
リスク分析ワークショップ』
セキュリティ対策を行うために重要なリスク分析について、
情報資産の洗い出しやリスク値の算定、対策の決定までの一連の流れを
ワークショップ形式でわかりやすく説明します。
講師：株式会社ブルーオーキッドコンサルティング
取締役 情報処理安全確保支援士・中小企業診断士
野村陽子氏

『DX支援事業のご紹介』

お申込み
お問合せ

下記URLまたは右記二次元コードを
読み込みお申し込みください。
申込期限：2月9日(日)23:59
<https://info.ipa.go.jp/form/ku/b/application/ssmi-reg17>

（セミナー運営事務局）
株式会社船井総合研究所 担当：横山・園田
03-6684-5159
px-isec-seminar@ipa.go.jp

【個人情報取扱い】 ご提供いただいた個人情報は、事務局・船井総合研究所ならびに共催者が、本セミナーの運営においてのみ使用し、事務局においてその管理を行うとともに、ご本人の同意なしに事務局及び共催者・講師以外の第三者に開示、提供することはありません。

2-1. サイバーセキュリティ人材の発掘・育成

●学生向け「サイバーセキュリティ体験講座（入門編）」

サイバーセキュリティに興味がある学生等を対象に、セキュリティ人材の裾野を広げることを目的とした講演及び演習を実施。

開催日：2025年9月3日 参加人数：約60名（現地及びオンライン）

会場：大阪工業大学 梅田キャンパス 201、202

主催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局
(近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター)

後援：独立行政法人情報処理推進機構

協力：特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会

○講話「サイバーセキュリティの学び方」

サイバーセキュリティの原則や基本的概念、スキルを習得するための学習方法等についてご講演いただきました。

○講義「攻撃者が使う騙しの手口を知ろう」

攻撃者が使う手法について、その手口や対策、対処法等についてご講義いただきました。

○演習「ハンズオンで学ぶ、あなたの身近なサイバーセキュリティ脅威」

参加者自身のPCを使って演習用の模擬サイトやメールを解析し、フィッシング攻撃に利用される手口や対策技術を学んでいただきました。



学生向け「サイバーセキュリティ体験講座（入門編）」

参加無料

気づかぬうちに狙われている！？日常に潜む脅威

インターネットが社会経済活動の基盤となる中、ネットワーク上の脅威は、悪質化・巧妙化しており、サイバーセキュリティ人材の育成・確保は、社会経済を支える上で重要な課題となっています。

本講座は、サイバーセキュリティに興味を持ち始めた方やICT関係の仕事に関心があるといった方などがサイバーセキュリティに関する基礎的な知識から、サイバー攻撃者が使う騙しの手口についての講義や身近にあるサイバーセキュリティの脅威についてハンズオン形式で学べる演習を通じて、サイバーセキュリティの知識を深めることができます。

演習ではスタッフのサポートもありますので初心者の方もサイバーセキュリティのスキル獲得の入口として安心してご参加ください。

プログラム	時間	内容	講師
開会挨拶	14:00-14:05		
講話	14:05-14:30	「サイバーセキュリティの学び方」	特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 教育部会 株式会社ラック サイバー・グリップ・ジャパン 主席研究員 長谷川 長一 氏
講義	14:30-15:00	「攻撃者が使う騙しの手口を知ろう」	特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 教育部会 東京電機大学 サイバーセキュリティ研究所 協力研究員 株式会社日立製作所 情報セキュリティリスク統括本部 主任技師 青木 翔 氏
演習	15:05-17:00	「ハンズオンで学ぶ、あなたの身近なサイバーセキュリティ脅威」	特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 教育部会 NTTドコモビジネス株式会社 インバージョンセンター 株式会社日立製作所 Cyber Threat Intelligence Operations Architect 坪井 祐一 氏

会場50名
オンライン50名

開催日 **2025年9/3** 水 時間 **14:00~17:00** 受付 13:30~

会場 **大阪工業大学 梅田キャンパス 201、202** 住所 **大阪府大阪市北区茶屋町1-45**
または **オンライン (Teams)** OIT梅田タワー 2F

対象者 **サイバーセキュリティに興味がある高校生、高専生、専門学校生、大学生、大学院生**

お申込み ご参加を希望される方は、右記URLまたはQRコードよりお申し込みを行ってください。
<https://forms.gle/wjWLFzIGxkwtFuE9>
お申込み期限：令和7年8月27日(水)17時まで

お申し込みの方
【個人情報保護方針】お申し込み時に取得した個人情報は、本講座への参加申込の受付及び今後のサイバーセキュリティ・ネットワークの事業運営に際し必要な場合にのみ使用し、第三者に開示・提供・販売は行いません。

持ち物 インターネット接続可能なPC（推奨OS：Windows11、Mac/推奨Webブラウザ：Microsoft Edge、Google Chromeの最新版）
※上記以外のPCでも参加可能ですが、一部の演習に参加できない可能性があります。ご了承ください。
※インターネット接続は会場でご用意いたします。

※講座に関するお問合せ）総務省 近畿総合通信局 サイバーセキュリティ室 TEL: 06-6942-8546
(申込みに関するお問合せ）総務省委託：株式会社エヌアイエスプラス TEL: 03-5689-8026

総務省 HIC 近畿総合通信局

主催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局（近畿総合通信局、近畿経済産業局、一般財団法人関西情報センター）
後援：独立行政法人情報処理推進機構
協力：特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会

リサイクル選性 ②
この印刷品は、回収の場へリサイクルできます。

2-1. サイバーセキュリティ人材の発掘・育成

●サイバーインシデント演習in京都・神戸

中小企業や団体等の経営層、セキュリティ責任者及び情報システム運用担当者の方等を対象に、インシデント対応のノウハウの習得を通じて、サイバーセキュリティレベルの向上を図ることを目的として開催。

【京都】開催日：2025年12月11日 参加人数：29名

会場：ハートンホテル京都 宇治伏見

主催：近畿総合通信局、関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局
(近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター)

後援：京都商工会議所、独立行政法人情報処理推進機構
ITコンソーシアム京都

協力：公益社団法人関西経済連合会、組込みシステム産業振興機構

【神戸】開催日：2026年2月26日 参加人数：42名

会場：三宮研修センター ルームB

主催：近畿総合通信局、関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局
(近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター)

後援：神戸商工会議所、独立行政法人情報処理推進機構

協力：公益社団法人関西経済連合会、組込みシステム産業振興機構

第1部では、「サイバー攻撃の情勢及び対応策について」と題して、最近のサイバー攻撃事例も上げながら、講演いただきました。

第2部及び第3部では、「セキュリティ事件・事故発生時の効果的な対応について」と題して、講師から提示される状況に沿って、インシデント対応を疑似的に体験いただきました。



サイバーインシデント演習 in 京都

セキュリティのインシデント対応を体験しませんか？

開催概要

中小企業は、サプライチェーンの最前線を担い、多くの取引先や関連企業と日々やり取りを行っています。サイバー攻撃を受けた場合に備えて、社内で意識を持ち、体制を構築した上で、セキュリティインシデント発生時の対応方法や手順などを共有しておくことが重要となっています。そこで、最近のサイバーセキュリティインシデントの発生状況や、被害拡大を最小限にとどめるための基本的事項を説明し、疑似的なインシデント発生時対応手順を体験することにより、組織内の基本方針やルールなどを考えていただくことを目的として「サイバーインシデント演習」を開催します。

開催体制

- 主催** 近畿総合通信局、関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局 (近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター)
- 後援** 京都商工会議所 (予定)、独立行政法人情報処理推進機構 ITコンソーシアム京都
- 協力** 公益社団法人関西経済連合会 (予定)、組込みシステム産業振興機構 (予定)

イベント詳細

- 2025年12月11日(木) 13:00-17:00 (12:30受付開始)
- 会場：ハートンホテル京都 宇治伏見 (京都府京都市中京区船屋町405/京都市営地下鉄烏丸御池駅 徒歩2分)
- 対象：中小企業/団体等の経営層、セキュリティ責任者及び情報システム運用担当者の方等
- 定員：40名 ※定員に達し次第、受付を終了いたします
- 参加費無料

プログラム

第1部サイバーセキュリティ講演
[13:00~14:00]

■「サイバー攻撃の情勢及び対応策について」
※命題を定めているインシデント事例などを紹介しながらサイバー攻撃による被害拡大を最小限にとどめるインシデント対応の流れを解説します。

第2部・第3部サイバーセキュリティ演習
[14:00~17:00]

■「セキュリティ事件・事故発生時の効果的な対応について」
第1部の内容を踏まえ、参加者によるグループワークを実施します。第2部では実演演習として、グループごとに配したパソコンを使用してインシデントとなりうるリスクを疑似体験して、意識しない情報漏洩がどのように起きるのか、また不正なサイトからどのように情報が漏れるのかについて理解を深めます。第3部では机上演習として疑似的なインシデント対応を体験いただき、インシデント発生から対応の検討、評価までのサイクルを、参加者が互いにディスカッション・意思決定しながら進めていく形をとります。

※2025年12月11日に京都府で実施した演習とは異なるテーマで実施いたします。
※本演習に参加される皆様同士でぜひ名刺交換いただければと存じます。(必須ではありません)
※当日は名刺をご持参いただくことをお勧めいたします。
※講義・演習は日本語で行います。

講師

川口 洋氏
株式会社川口設計
代表取締役

2002年大手セキュリティ会社にて社内のインフラシステムの維持運用業務ののち、セキュリティ監視センターに配属。2013年~2016年内閣サイバーセキュリティセンター(NSC)に所属。行政機関のセキュリティインシデントの対応、一般民衆向け普及啓発活動などに従事。2018年株式会社川口設計設立。Hardening Projectの運営や講演活動など、安全なサイバー空間のため日夜奮闘中。

お申込み

お問い合わせ

総務省近畿総合通信局 サイバーセキュリティ室
06-6942-8546
renkei-k@soumu.go.jp

上記2次元コードまたは以下の申込URLよりお申込みください。
<https://www.klis.or.jp/form/?id=271>

【申込期限】2026年2月18日(水)まで

※イベントの企画・運営費は各自がご負担。講義準備費等ある一部行政法人情報処理センター (KHIS) が行います。

2-1. サイバーセキュリティ人材の発掘・育成

●サイバーセキュリティ・リレー講座(初級者向け) ～サイバーセキュリティの基礎&心得習得編～

企業でこれからサイバーセキュリティを担う担当者(初級者)に対し、様々な事案に柔軟に対応できるセキュリティ分野のセンスや専門性の土台を身につけることを目的に、関西をはじめ全国を代表する研究者8名によるオンライン集中講座を実施。

開催日：2025年8月20日～9月29日(全8回)

視聴申込者：710名

主催：(一財)関西情報センター

協力：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局

(経済産業省近畿経済産業局・総務省近畿総合
通信局・(一財)関西情報センター)
関西DX実装イニシアティブ

slido(スマホやPCで匿名で質問をリアルタイムに入力できる
Webサービス)を用いて講師に直接質問することが可能

全8回のうち7回以上アンケートを提出した方を対象に、「受
講確認書」を発行

Kansai SEC-net
関西サイバーセキュリティ・ネットワーク

第8回 **全8回**
サイバー **オンライン**
セキュリティ **参加無料**
リレー講座

8/20 上原 哲太郎 (立命館大学)
セキュリティ対策において
経営者が果たすべき役割

8/22 柏崎 礼生 (近畿大学) **NEW**
可用性の高い
インフラストラクチャ
～連続性と合意形成～

8/29 井上 大介 (情報通信研究機構) **NEW**
サイバー攻撃の最新動向と
サイバーセキュリティ産学連携

9/5 江崎 浩 (東京大学) **NEW**
AIが加速する
OTサイバーセキュリティ

9/12 猪俣 敦夫 (大阪大学)
トンネリングと
無線LANセキュリティ

9/18 秋山 豊和 (京都産業大学) **NEW**
Identity Managementの
動向

9/22 北條 孝佳 (西村あさひ法律事務所・外国法共同事業) **NEW**
経営者・担当者が抑えておくべき法的
側面からのサイバーセキュリティ

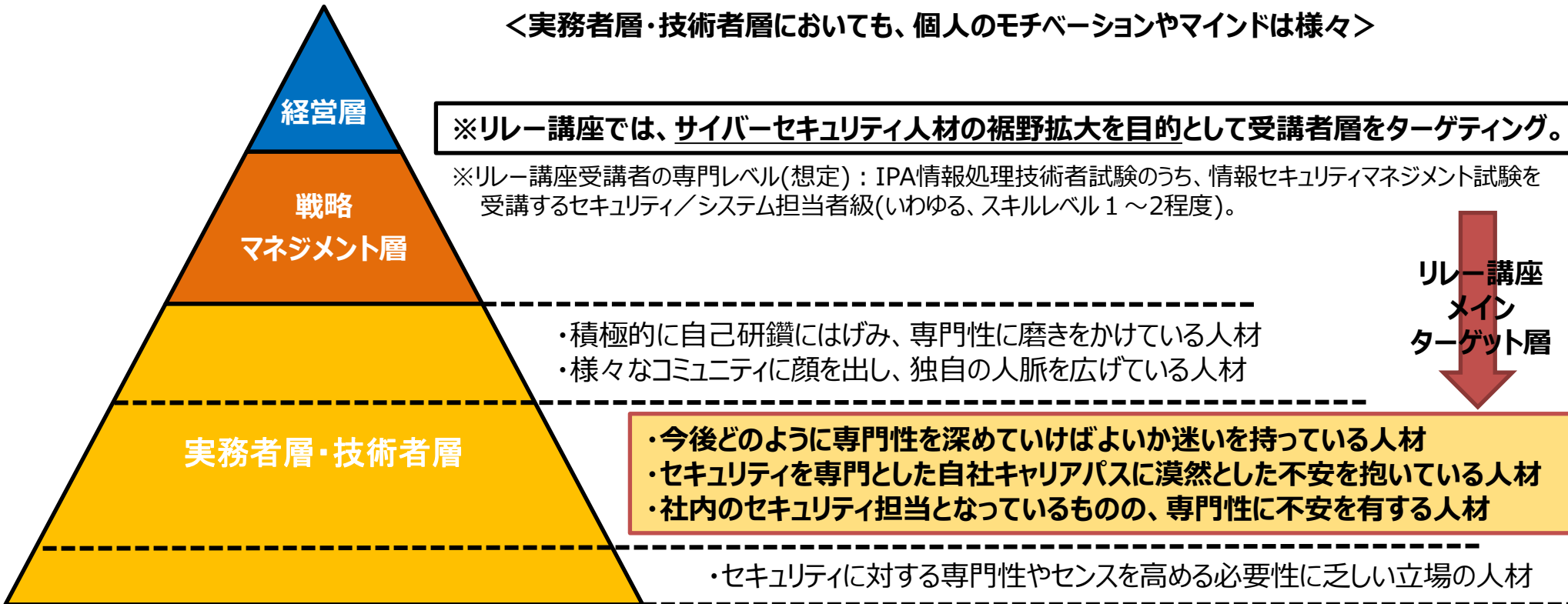
9/29 森井 昌克 (神戸大学) **NEW**
QRコードとは何か、
その脆弱性と決済に絡む
特殊詐欺との関係

サイバーセキュリティ関連
最先端研究者による、
オムニバス形式のリレーセミナー

- リアルタイム視聴により
講師への質問可能
- 関西をはじめ代表する
有識者8名が順に講義
- 見逃し視聴有
(申込者限定・期間限定)

(参考)企業担当者向け(初級)サイバーセキュリティ・リレー講座のターゲット層

〈実務者層・技術者層においても、個人のモチベーションやマインドは様々〉



(参考)「サイバーセキュリティ戦略」(平成30年7月27日閣議決定)

4.4.1 人材育成・確保 (抜粋)

産学官が連携して人材の需要や人材育成施策に関する情報共有等の連携を図りつつ、人材育成・確保を強化していく。

(1) 戦略マネジメント層の育成・定着

(2) 実務者層・技術者層の育成

実務者や技術者が戦略マネジメント層に対して貢献できるよう、日々進化する情報通信技術や制御システムの技術、これらに対するサイバー攻撃について理解を深めることはもとより、経営層の方針を理解しつつ、他の専門人材と円滑にコミュニケーションをとりながらチームの一員として対処ができるようにすることが重要である。

(3) 人材育成基盤の整備

中長期的な情報通信技術の進化を見据え、応用分野であるサイバーセキュリティの土台となる基礎原理の理解を促し、論理的思考力や概念的思考力の育成を充実させる必要がある。

2-1. サイバーセキュリティ人材の発掘・育成

●サイバーセキュリティ・トップセミナー

国のサイバーセキュリティに関する最近の動向やIoT機器のセキュリティ対策の現状や重要性について、2024年8月に発表された「IoT製品に対するセキュリティ適合性評価制度構築方針」を元にパネルディスカッション等を交えながら企業に求められるサイバーセキュリティ対策について検討する。

日時 2025年10月14日(火) 13:00~15:30
会場 産総研・関経連うめきたサイト
主催 (一財)関西情報センター、(公社)関西経済連合会
後援 (独)情報処理推進機構、組込みシステム産業振興機構
協力 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局
(近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター)

講演1：「産業分野におけるサイバーセキュリティ政策」
「安全保障の観点から考えるサイバーセキュリティ」
PwCコンサルティング合同会社
パートナー/執行役員
丸山 満彦 氏

講演2：「能動的サイバー防御とアクティブサイバーディフェンス」
国立研究開発法人 情報通信研究機構
主席研究員
伊東 寛 氏

トークセッション

コーディネータ：神戸大学 名誉教授

パネリスト：PwCコンサルティング合同会社

国立研究開発法人 情報通信研究機構

森井 昌克 氏

丸山 満彦 氏

伊東 寛 氏

参加費無料

10月は 関西デジタル・マンスQ

サイバーセキュリティ トップセミナー

～国家と企業に求められる新たなサイバー防御戦略～

情報窃取や技術流出、重要インフラへの攻撃は、国家・企業の競争力と経済安全保障を脅かす深刻な脅威です。2025年5月には「能動的サイバー防御」法案が成立し、国・企業に新たな対応が求められています。

サイバーセキュリティへの投資は成果が測りにくいにもかかわらず、受ける被害は甚大です。経営層の理解が必要な事業です。

本セミナーでは、経済安全保障の観点からサイバーセキュリティの重要性を再考し、能動的サイバー防御の概要と影響を講演・トークセッションを通じて解説します。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会場：産総研・関経連うめきたサイト
(グラングリーン大阪 北館 JAM BASE 4 階)

10月14日(水) 13:00-15:30
(受付開始 12:30) 定員：50名程度 ※先着順

プログラム(予定)

講演①「サイバー安全保障に関する我が国の取り組み
～能動的サイバー防御とアクティブサイバーディフェンス～」
国立研究開発法人 情報通信研究機構 主席研究員 伊東 寛 氏

講演②「安全保障の観点から考えるサイバーセキュリティについて」
PwCコンサルティング合同会社 パートナー/執行役員 丸山 満彦 氏

トークセッション
モデレーター
神戸大学 名誉教授 森井 昌克 氏

パネリスト
国立研究開発法人 情報通信研究機構 主席研究員 伊東 寛 氏
PwCコンサルティング合同会社 パートナー/執行役員 丸山 満彦 氏

主催：(公社)関西経済連合会、(一財)関西情報センター
後援：(独)情報処理推進機構
組込みシステム産業振興機構
協力：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局
(近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター)

【お問い合わせ先】
関西経済連合会 産業部
西田 (TEL 080-7293-5506)
関西情報センター インベーション創出グループ
石橋 (TEL 06-6809-2142)

※お申込はこちら※
【申込時期】
10/10(月)17時

QR

2-1. サイバーセキュリティ人材の発掘・育成

●セキュリティ・キャンプ2026ミニ（大阪開催） 公開講座／専門講座

学生等若手セキュリティ技術者育成に向けたイベントを、各機関等との共催により実施。

日程 【公開講座】2026年3月13日(金)14:00～17:00

【専門講座】2026年3月14日(土)9:00～17:00

会場 【公開講座】松下IMPビル2階C会議室

【専門講座】一般財団法人関西情報センター 第1会議室

開催体制

【主催】(一財)関西情報センター、(一社)セキュリティ・キャンプ協議会、(独)情報処理推進機構

【共催】関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局(近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター)

【後援】(公社)関西経済連合会、大阪商工会議所、大阪府警察本部警務部高度情報推進局サイバーセキュリティ対策課、組込みシステム産業振興機構

講演1：「セキュリティ・キャンプの紹介」

(一社)セキュリティ・キャンプ協議会

施策紹介：近畿総合通信局、近畿経済産業局、(一財)関西情報センター

トークセッション

(株)トライコーダ 上野 宣 氏 / Ridgelinez株式会社(株) 佳山 こうせつ 氏 /

神山まるごと高等専門学校 竹迫 良範 氏 /

(株)Aufense Technologies 松本 悦宜 氏

進行：(一財)関西情報センター 石橋 裕基

講演2：「セキュリティ業界の俯瞰マップとキャリア選択 ～社会への貢献実感と計画的偶発性理論～」

Ridgelinez(株)

佳山 こうせつ 氏

セキュリティ・
キャンプ2026ミニ
大阪開催(公開講座) 2026.3.13(金)
14.00 - 17.00

★会いに行けるセキュリティ専門家★
サイバーセキュリティ握手会

佳山 こうせつ 松本 悦宜 上野 宣 竹迫 良範

今日のデジタル化社会では、情報の漏洩や不正アクセスなど、セキュリティの脅威は日増しに高まっています。しかし、その対策は複雑で理解しにくいものが多く、多くの人が適切な対応に苦慮しています。このイベントを通じて、サイバーセキュリティの課題に対する理解を深め、自らの生活や業務に活かせる実践的な知識を身につけましょう。このイベントは貴重な学びの場となります。ぜひご参加ください。

🕒 プログラム 📍 会場

■講演1 佳山 こうせつ氏 (Ridgelinez株式会社)
「セキュリティ業界の俯瞰マップとキャリア選択
～社会への貢献実感と計画的偶発性理論～」

■講演2 一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会
「セキュリティ・キャンプの紹介」

■施策紹介 サイバーセキュリティ関連各種施策・事業の紹介

■トークセッション
登壇者：佳山 こうせつ氏 (Ridgelinez株式会社)
上野 宣 氏 (株式会社トライコーダ)
竹迫 良範 氏 (神山まるごと高等専門学校)
松本 悦宜 氏 (株式会社Aufense Technologies)
進行：石橋 裕基 (一般財団法人関西情報センター)

松下IMPビル2階C会議室
(大阪市中央区城見1-3-7)

お申込みはこちらから

主催：一般財団法人関西情報センター (KIS)、一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会
共催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局
(経済産業省近畿経済産業局、総務省近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター (KIS))
後援：公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、
大阪府警察本部警務部高度情報推進局サイバーセキュリティ対策課、組込みシステム産業振興機構

2-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

● 中小企業向けサイバーセキュリティ対策セミナー

IT初心者必見！ サイバー攻撃対策で最初にすべきこととは！？ 最新動向と対策事例～狙われている中小企業～

中小企業を狙ったサイバー攻撃が増加する中、何から着手すればよいのか迷っている中小企業の声も多い状況。そのような中小企業に対し、サイバー攻撃の最新動向と、中小企業が取り組みやすいサイバーセキュリティ対策について、事例を交えて具体的に紹介するセミナーを（一社）日本損害保険協会近畿支部等と実施。

日時 2025年10月29日（水）15:30～17:00

形式 ハイブリッド開催（会場：CIVI北梅田研修センター5階Hall）

主催 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局（近畿経済産業局、近畿総合通信局、（一財）関西情報センター）、（一社）日本損害保険協会近畿支部、近畿経済産業局

共催 大阪商工会議所、(独)情報処理推進機構

申込者 277名（会場59名・オンライン218名）

① ITが苦手な中小企業向けサイバーBCPセミナー

手口・被害事例・対策を分かり易く解説！

大阪商工会議所 経営情報センター 課長 野田 幹稀 氏

② 今注目の「サイバー保険」

日本損害保険協会 近畿支部 事務局長代理 担当課長 村越 勝弘 氏

③ 事業継続力強化計画認定制度について

近畿経済産業局 産業部 創業・経営支援課 経営力向上室

事業継続力強化第一係長 井本 彩子 氏



中小企業向け サイバーセキュリティ対策セミナー

参加無料
要申込

IT初心者必見！

サイバー攻撃対策で最初にすべきこととは！？
最新動向と対策事例～狙われている中小企業～

結局何をすればいい！？中小企業を狙ったサイバー攻撃が増加する中、何から着手すればよいのか迷っていませんか。
本セミナーでは、サイバー攻撃の最新動向と、中小企業が取り組みやすいサイバーセキュリティ対策について、事例を交えて具体的にご紹介します。
IT初心者の皆様にごそっていただきたい内容ですので、ぜひご参加ください。

開催日時 2025年
10月29日（水）15:30～17:00 オンライン同時開催

会場 CIVI北梅田研修センター 5階 Hall
(裏面のアクセス図をご参照ください)

プログラム

●講演：ITが苦手な中小企業向けサイバーBCPセミナー
手口・被害事例・対策を分かり易く解説！

- ・最近のサイバー攻撃の概要
- ・最新のサイバー攻撃の手口・被害事例・対策
- ・中小企業が持つべき視点と実践すべきこと
- ・国や支援機関による支援施策、専門相談先の紹介
- ・社長(上司)に、中小企業(支援先・顧客)に、いつ、どう訴求するか？

講師：大阪商工会議所 経営情報センター 課長
IPA登録セキュリティプレゼンター 野田 幹稀

- 今注目の「サイバー保険」 日本損害保険協会
- 事業継続力強化計画認定制度について 近畿経済産業局

2-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

●サイバーセキュリティセミナー in 兵庫

生成AIを活用するために知っておくべきセキュリティリスクとサイバー空間の脅威

生成AIの業務活用が進む一方で、セキュリティ面の不安から導入をためらう中小企業も少なくありません。本セミナーでは、最新のサイバー空間の脅威やAIセキュリティの動向に加え、生成AIを業務で安全に使うための具体的な留意点と対策をわかりやすく紹介するセミナーを（公社）兵庫工業会、（公財）こうべ産業・就労支援財団と共催で開催。

日時 2026年1月22日(木)14:00～16:00

形式 ハイブリッド形式（会場：神戸市産業振興センター 802・803会議室）

共催 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局（近畿経済産業局、近畿総合通信局、（一財）関西情報センター）、（公社）兵庫工業会、（公財）こうべ産業・就労支援財団、（独）情報処理推進機構

申込者 153名（会場43名・オンライン110名）

第1部 中小企業を取り巻くサイバー空間の脅威

兵庫県警察 サイバーセキュリティ・捜査高度化センター サイバー企画課
警部 柳 英俊 氏

第2部 中小企業が認識すべきAI特有の挙動に基づく留意点と対策

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）セキュリティセンター
サイバー分析部 調査グループ 中村 友亮 氏

第3部 AIセキュリティを取り巻く脅威・動向

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）セキュリティセンター
サイバー分析部 副部長 沖田 孝裕 氏

サイバーセキュリティセミナー in 兵庫

生成AIを活用するために知っておくべき
セキュリティリスクとサイバー空間の脅威

参加形式 ハイブリッド開催（会場定員：30名）

開催場所 神戸市産業振興センター904/905
（神戸市中央区東川崎町1丁目8番4号
神戸ハーバーランド内）

対象 中小企業等の経営層や情報システム担当者等
※関心がある方はどなたでも受講可能です。

共催 公益社団法人兵庫工業会、公益財団法人こうべ産業・就労支援財団、
関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局
（近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター）、
独立行政法人情報処理推進機構

参加無料
1.22 木
14:00～16:00

プログラム

『中小企業を取り巻くサイバー空間の脅威』
中小企業の身近に迫るランサムウェアやサプライチェーン攻撃、
生成AIを活用したサイバー攻撃など、サイバー空間の脅威の実態を紹介します。
講師：兵庫県警察 サイバーセキュリティ・捜査高度化センター
サイバー企画課 警部 柳 英俊 氏

『中小企業が認識すべきAI特有の挙動に基づく留意点と対策』
AIの特徴を踏まえ、特有の挙動について解説し、
生成AIを含むAIを業務に利用する組織や利用者が気を付けるべき点を示します。
講師：独立行政法人情報処理推進機構（IPA）セキュリティセンター
サイバー情勢分析部 調査グループ 中村 友亮 氏

『AIセキュリティを取り巻く脅威・動向』
AIの悪用によるセキュリティの脅威やこれらの脅威の高まりに対して各国がどのような政策を
行っているのか、AIに関連してどのようなガイドラインが発行されているのかを解説します。
講師：独立行政法人情報処理推進機構（IPA）セキュリティセンター
サイバー情勢分析部 副部長 沖田 孝裕 氏

お申込み
お問合せ

下記URLまたは右記二次元コードを
読み込みお申込ください。
申込期限：1月19日（月）23:59
[https://info.ipa.go.jp/form/pub/app
lication/semi-reg16](https://info.ipa.go.jp/form/pub/application/semi-reg16)

（セミナー運営事務局）
株式会社船井総合研究所 担当：横山・園田
☎ 03-6684-5159
✉ px-iscsec-seminar@ipa.go.jp

【個人情報保護方針】ご提供いただいた個人情報は、事務局：船井総合研究所ならびに共催者が、本セミナーの運営においてのみ使用し、事務局に
おいてその保護について万全を期すとともに、ご本人の同意なしに事務局及び共催者、講師以外の第三者に開示、提供することはありません。



2-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

● 経済産業省 サイバーセキュリティ政策説明会 in 関西

サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度（SCS評価制度）とサイバーセキュリティお助け隊サービス（新類型）の実証事業について

近年、サプライチェーンを構成する企業では、情報漏洩・事業継続に関わるインシデントが頻発し、発注側からは「セキュリティ対策の可視化」、受注側からは「負担軽減」が強く求められています。こうした課題を受け、経済産業省は2026年度末の開始を目指し、「SCS評価制度」の創設と「サイバーセキュリティお助け隊サービス（新類型）」の提供に向けた実証事業を予定しており、その説明会を大阪商工会議所、（公社）関西経済連合会と共催で開催。

日時 2026年2月18日(水)14:00～15:00

形式 ハイブリッド形式

会場 大阪合同庁舎1号館

主催 経済産業省、関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局（近畿経済産業局、近畿総合通信局、（一財）関西情報センター）

共催 大阪商工会議所、（公社）関西経済連合会

申込者 320名（会場41名・オンライン279名）

講師 経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課 係長 鈴木 菜穂子

内容 「日本のサプライチェーンを守り抜くための新制度と経済産業省のサイバーセキュリティ政策・支援策について」

- 1) サイバー空間をめぐる脅威の状況と経済産業省のサイバーセキュリティ政策について
- 2) サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度について
- 3) サプライチェーンお助け隊サービス（新類型）の概要及び実証事業について



経済産業省 サイバーセキュリティ政策説明会 in 関西

-サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度（SCS評価制度）とサイバーセキュリティお助け隊サービス（新類型）の実証事業について-

日時 2026年2月18日(水)14:00～15:00

形式 ハイブリッド形式
(会場定員30名/オンラインはTeamsを使用)

会場 大阪合同庁舎1号館 2階 近畿経済産業局 第一会議室
(大阪市中央区大手前1-5-44)

参加費 無料

対象 ・サイバーセキュリティ対策に取り組みたい中堅・中小企業
・サプライチェーンを構成する大企業
・地域支援機関、経済団体等
・セキュリティ対策に関心のある方やセキュリティ担当者等

プログラム

・開催挨拶

・講演

「日本のサプライチェーンを守り抜くための新制度と経済産業省のサイバーセキュリティ政策・支援策について」
経済産業省 商務情報政策局 サイバーセキュリティ課 係長 鈴木 菜穂子

・サイバー空間をめぐる脅威の状況と経済産業省のサイバーセキュリティ政策について
・サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度について
・サイバーセキュリティお助け隊サービス(新類型)の概要及び実証事業について

・質疑応答

主催：経済産業省、関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局(近畿経済産業局・近畿総合通信局・一般財団法人関西情報センター)

共催：大阪商工会議所、公益社団法人関西経済連合会

申込問合せ 下記URLまたは右記二次元コードを
読み込みお申し込みください。
申込期限：2月16日(月)23:59
<https://mm-enqueteic.cnt-met.go.jp/formPubk/mn501616m35>



近畿経済産業局 地域経済部
次世代産業・情報政策課 担当：児玉・中村
06-6966-6008

bzl-kinki-jisedai-dx★meti.go.jp

【個人情報】ご提供いただいた個人情報は、主催者・共催者が、本セミナーに関する運営や案内、おいてのみ使用し、その用途以外に第三者へ提供することはありません。

2-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

●サイバーセキュリティ対策実践セミナー in 奈良 自社の脆弱性を見える化し、守り抜く対策と対応を学ぶ

対策の遅れ等から大企業よりも中小企業のほうがサイバー被害に遭っていることが警察庁の調査で明らかとなっており、適切な備えが急務となっています。そのような中、自社の脆弱性を把握するためのセルフチェックに加え、最低限必要とされるセキュリティ対策のご紹介や、事故発生時の初動対応について演習形式で実践的に学ぶセミナーを奈良県、(公社)奈良経済産業協会と実施。終了後は個別相談会も実施。

日時 2026年2月25日(水)13:30～16:30 (終了後個別相談会を実施)
会場 奈良経済産業振興総合センター イベントホール
共催 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局 (近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター)、奈良県、(一社)奈良経済産業協会、(独)情報処理推進機構
申込者 35名 (個別相談3名)
講師 株式会社ブルーオーキッドコンサルティング 取締役 野村 陽子 氏

第1部 講演「自社診断で見える“弱点”と取り組むべきセキュリティ対策」

- (1) サイバーセキュリティを取り巻く最新動向
- (2) 情報セキュリティ対策状況のセルフチェック
- (3) 中小企業が最低限取り組むべきセキュリティ対策とは

第2部 机上演習「演習で学ぶ、被害を最小限に抑える初動対応」

- (1) 事故対応のポイント (2) 机上演習「初動対応」 (3) まとめ・質疑応答

終了後 講師との個別相談会



サイバーセキュリティ対策実践セミナー in 奈良 ～自社の脆弱性を見える化し、 守り抜く対策と対応を学ぶ～

参加無料
2.25 水
13:30～16:30
終了後個別相談会を実施

場所 奈良県産業振興総合センター イベントホール (奈良市柏木町129-1)
定員 20名 (定員になり次第受付終了)
対象 中小企業等の経営層、情報システム担当者等
※セキュリティ対策に不安がある方、これから対策に取り組む方、インシデント対応を実践的に学びたい方等ご関心がある方はどなたでも参加可能です。
共催 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局 (近畿経済産業局・近畿総合通信局・一般社団法人関西情報センター)、奈良県、一般社団法人奈良経済産業協会、独立行政法人情報処理推進機構

プログラム

第1部 講演
自社診断で見える“弱点”と取り組むべきセキュリティ対策
(1) サイバーセキュリティを取り巻く最新動向
(2) 情報セキュリティ対策状況のセルフチェック
(3) 中小企業が最低限取り組むべきセキュリティ対策とは

第2部 机上演習
演習で学ぶ、被害を最小限に抑える初動対応
セキュリティ事故発生時の対応を演習事例を通じて学びます。
(1) 事故対応のポイント (2) 机上演習「初動対応」 (3) まとめ・質疑応答

講師 株式会社ブルーオーキッドコンサルティング 取締役
情報処理安全確保支援士・中小企業診断士 野村 陽子 氏
中小企業等に対し、クラウドコンピューティング活用・情報セキュリティ対策をはじめとするITコンサルティングに携わる。商工会議所等の創業・起業、経営関連セミナーにて講師を務めるほか、企業内研修の講師も多数保有。前職では、NTT西日本の法人営業部門にて13年間、中堅・中小企業や医療機関に対するIT導入支援に携わる。

終了後 **講師との個別相談会 (事前予約制 / 1社20分 / 先着3社)**
自社のセキュリティ対策の些細な疑問等お気軽にお申し込みください (当日は申込順でご案内となります)。

下記URLまたは右のQRコードを
読み込みお申し込みください。
申込期限：2月18日(水) 23:59
<https://mz-enquete.cnta.jp/entryform/20260225>
06-6966-6008
bzl-kinki-jisedai-dx*meti.go.jp
※メール送付例は*を@に変更いたします。
【個人情報取扱い方針】ご提供いただいた個人情報は、事務局・総務部関係者等ならびに関係機関が、本セミナーの運営に必要と認められる限り、事務局においてその取扱いについて方針を固めるとともに、ご本人の同意なしに事務局及び共催者・講師以外の第三者に開示、提供することはありません。

2-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

●サイバーセキュリティ・セミナーin京都

小規模・中小企業からの相談を受け、助言を行う経営支援員*やシステム関連部署職員等対象に、サイバー犯罪を受けた際に発生する損害や、実際に取るべきサイバーセキュリティ対策についての講演を通じて知見の習得を図り、日々の伴走支援業務に生かしていただくことで、管内の中小企業等のサイバーセキュリティ対策の向上につなげる。

開催日：2025年11月26日 開催場所：京都商工会議所

主催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局(近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター)
京都商工会議所

○講演①「サイバー犯罪の現状と対策」

講師：京都府警察サイバー対策本部 吉田 卓司 氏
身近な脅威の動向と対策について説明いただきました。

○講演②「リスクマネジメントと情報セキュリティ対策」

講師：独立行政法人情報処理推進機構 白川 浩 氏
中小企業に対してもサイバー攻撃が行われている現状を踏まえ、サイバーセキュリティお助け隊サービスの内容を通じて中小企業に求められる必要な対策と備えを説明いただきました。

○講演③「実被害から考えるセキュリティ対策 ～事後対策の重要性～」

講師：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 瀬崎 弘朗 氏
中小企業でよくあるサイバー攻撃の紹介や、サイバー攻撃を受けた際にかかる費用について説明いただき、事後対策の必要性と方法を認識していただきました。



※「小規模事業者の経営に係る指導を行う者であって、小規模事業者に対して効果的かつ適切な指導を行うために必要な知識及び経験を有する者として経済産業省令で定める要件に該当する者」（商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律）

2-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

●AI時代におけるサイバーセキュリティセミナー

中小企業や団体等の経営層、セキュリティ責任者及び情報システム運用担当者の方等を対象に、最新のサイバー犯罪やその被害状況、中小企業が取るべき対策を様々な立場・視点から解説いただくことにより 実務担当者から経営層まで幅広い方に、自組織内のサイバーセキュリティ対策について考えていただく契機とする。

開催日：2025年12月17日 参加人数：約86名（現地及びオンライン）

会場：ANCHOR KOBE

主催：近畿総合通信局、関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局(近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター)

共催：神戸商工会議所 後援：独立行政法人情報処理推進機構 協力：近畿管区警察局

○講演①「企業を狙うサイバー空間の脅威とその対策」

講師：警察庁近畿管区警察局 鎌谷 輝明 氏

○講演②「Grow with Google はじめての生成AI活用/ はじめてのサイバーセキュリティ中小企業向け」

講師：Grow with Google 講師（所属元：株式会社エージェント）
松崎 由香里 氏

○講演③「中小企業へのサイバー攻撃最前線 ～最小投資で最適なセキュリティ対策とは？～」

講師：株式会社神戸デジタル・ラボ 近藤 伸明 氏

参加無料

AI時代における セキュリティ対策セミナー

—知っておいて損はない！AIとセキュリティの今—

中小企業においても事業へのAI活用が進む今日、ネット空間では大企業だけでなくサプライチェーンを構成する中小企業もサイバー攻撃の対象となっています。
AIを悪用した巧妙なサイバー攻撃も見受けられるなか、事業へのAI活用と併せてサイバーセキュリティ対策にも本気で取り組む必要があります。
本セミナーでは中小企業の皆様に向けて、最新のサイバー攻撃に関する情報やデモ映像を交えた講演により、限られたリソースでも導入できるサイバーセキュリティ対策について紹介させていただきます。

日時 **令和7年12月17日(水)** 受付13:30～
14:00～16:30

対象 **中小企業の経営者層や情報システム担当者等**
※関心がある方は、どなたでも申し込みいただけます。

定員 **現地会場 50名/オンライン配信(Teams) 50名**

会場 **ANCHOR KOBE**
兵庫県神戸市中央区加納町4-2-1 神戸三宮阪急ビル 15F



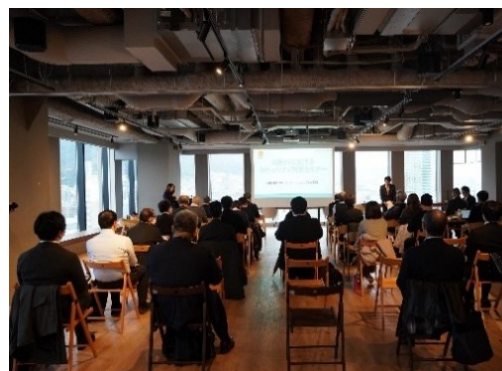
阪急「神戸三宮駅」直結！

電車をご利用の場合
・阪急「神戸三宮駅」東口直結
・JR「三宮駅」西口徒歩2分
・神戸市営地下鉄「三宮駅」阪急連絡口徒歩2分

プログラム・申込方法は
裏面をご覧ください！

総務省
近畿総合通信局

神戸商工会議所



2-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

●DX・サイバーセキュリティ出前講座事業

企業におけるDXとサイバーセキュリティの取り組みを促進していくことを目的として、DX・サイバーセキュリティ分野の専門家を派遣する事業を展開する。

派遣専門家：

森井 昌克 氏(神戸大学 名誉教授)
上原 哲太郎 氏(立命館大学 情報理工学部 教授)
猪俣 敦夫 氏(大阪大学大学院 情報科学研究科 教授)
長谷川 長一 氏((株)ラック サイバー・グリッド・ジャパン)
山口 あゆみ 氏(子供とネットを考える会 代表)
辻野 一郎 氏(ITコンサルティング Dxpower 代表)
野村 陽子 氏((株)ブルーオーキッドコンサルティング 取締役)
垣見 多容 氏(ITコーディネータ)
下垣内 太 氏(アイフォレンセ日本データ復旧研究所株式会社) 等

主催：(一財)関西情報センター

協力：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局

(経済産業省近畿経済産業局・総務省近畿総合通信局・(一財)関西情報センター)

2025年度派遣実績：

企業、業界団体、地方自治体等15社・機関に対し派遣



kiis 一般財団法人関西情報センター

DX・サイバーセキュリティ出前講座事業

関西DX推進プラットフォーム

業界や会社全体でDX・サイバーセキュリティについて考えませんか？

講師の派遣の相談や、実際の派遣にかかわる費用(有識者謝金・交通費)は事務局が負担します。DX・サイバーセキュリティを少しでも前に進めたい。そういった企業や業界団体からのご利用をお待ちしています。

※講師謝金ならびに講師交通費を事務局が負担します。
※会合・勉強会の開催にかかわる会場費や設備借料、茶菓代等は負担いたしかねます。

- 希望テーマのみが決まっているという状況でのお申し込みでも問題ございません。その際は事務局にお問い合わせください。講師選定のサポートをさせていただきます。
- 同一の専門家による複数回の講演等をご希望の場合はお知らせください。また、その場合、DX・サイバーセキュリティアドバイザー派遣事業のご活用もご検討ください。
- セミナーや会合、勉強会等の性質/規模によっては講師派遣をお断りさせていただく場合がございます。



下記URLより申込書をダウンロードし、必要事項をご記入のうえお申込みください。

<https://kansaidx.kiis.or.jp/visiting-lecture/>



費用
無料

お申し込み

下記URLより申込書をダウンロードし、必要事項をご記入のうえお申込みください。



<https://kansaidx.kiis.or.jp/visiting-lecture/>



お問合せ

本事業の詳細・ご不明点については以下までお問い合わせください。

一般財団法人関西情報センター
インベーション創出支援グループ

06-6809-2142
rstaff@kiis.or.jp

2-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

●DX・サイバーセキュリティアドバイザ派遣事業

企業におけるDXとサイバーセキュリティの取り組みを促進していくことを目的とし、DX・サイバーセキュリティ分野アドバイザーを要望に合わせて企業に派遣し、DXやサイバーセキュリティ対策の推進に向けたアドバイスを実施する事業。1社あたり最大5回のアドバイスを実施。

派遣専門家：

杉浦 司 氏(杉浦システムコンサルティング, Inc 代表取締役)
芝先 恵介 氏((株)01START 代表)
野村 陽子 氏((株)ブルーオーキッドコンサルティング 取締役)
垣見 多容 氏(ITコーディネータ)
村中 督史 氏(株式会社オモシゴ) 等

主催：(一財)関西情報センター

協力：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局

(経済産業省近畿経済産業局・総務省近畿総合通信局・(一財)関西情報センター)

2025年度派遣実績：

メーカー、商社、システム開発会社、組合等14社・機関に対し派遣

Kiis 一般財団法人関西情報センター

DX・サイバーセキュリティアドバイザ派遣事業

関西DX推進プラットフォーム

DX・サイバーセキュリティ対策の取り組み検討・実装を専門家が伴走型で支援

DXやサイバーセキュリティ対策に取り組もうとする企業に対して、コンサルタントやITコーディネータ、IT企業の方々をアドバイザ（専門家）として貴社に派遣し、DXやサイバーセキュリティ対策を進めるに当たっての戦略の立案や方向性の検討、課題抽出等を伴走型で支援いたします。

- DXやセキュリティ対策に取り組みたいものの何から初めて良いのかわからない
- 部分的な業務のデジタル化は進めておりこれから全社的なデジタル活用ステップアップしたい
- 自社の経営課題の抽出や整理を行いたい
- 個別のIT導入等の進め方を相談したい
- システム間の連携をスムーズに行いたい
- PMS（個人情報保護マネジメントシステム）の構築について相談してみたい

等、様々なフェーズ・ご要望に対応可能です。

概要

- 1回あたり1〜2時間、3回〜5回（最大5回程度）の支援を想定しております。
- 状況に応じて各回の時間・回数の変更も検討させていただきます。
- 派遣するアドバイザは事務局にて選定致しますが、希望する専門家がおられる場合はお申込みの際にその旨をお伝えください。
- 派遣終了後、定期的な成果調査へのご協力をお願いすることがございます。
- 内容によっては専門家派遣をお断りさせていただく場合がございます。

お申し込み

下記URLより申込書をダウンロードし、必要事項をご記入のうえお申込みください。

<https://kansaidx.kiis.or.jp/experts/patch/>

費用 無料

派遣までの流れ

- ①申込書を記入・提出
- ②アドバイザ選定・打合せ
- ③派遣スタート

派遣回数：最大5回程度／社

お問合せ

本事業の詳細・ご不明点については以下までお問い合わせください。

一般財団法人関西情報センター
イノベーション創出支援グループ

06.6809.2142
rstaff@kiis.or.jp

3. (参考資料)過去の主な取組

過去の主な取組項目

1. サイバーセキュリティ人材の発掘・育成

- サイバーセキュリティ・スクール（ゲーム編）
- サイバーセキュリティ・スクール（CTF編）
- AIセキュリティセミナー
- 情報セキュリティ・マネジメントセミナー
- 学生向け「サイバーセキュリティ体験講座（入門編）」
- サイバーインシデント演習in京都・大阪
- 経営者向けインシデント対応机上演習in堺・兵庫
- セキュリティ担当者向けリスク分析ワークショップin堺・兵庫

2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

- サイバーセキュリティ地域別セミナー（2府5県、計7回）
- 学校対抗CTF大会
- サイバーセキュリティ・カフェ（地域における情報発信）
- 今すぐできるサイバーセキュリティセミナー
- サイバーセキュリティセミナー大阪・関西万博までにやっておきたいセキュリティ対策
- サイバーセキュリティセミナーin兵庫
- サイバーセキュリティ・セミナーin京都
- サイバーセキュリティ・セミナーin大阪
- 情報セキュリティセミナー
- サイバーセキュリティ相談窓口の見える化
- 地域セキュリティコミュニティ形成支援

3-1. サイバーセキュリティ人材の発掘・育成

●サイバーセキュリティ・スクール（ゲーム編）

セキュリティを専門に学ぶ学生以外にもサイバーセキュリティへの関心を高め、地域のセキュリティ人材の裾野を広げるため、二つのゲームを通してサイバーセキュリティを学べるイベントを開催。
(対象者は学生中心。)

開催日：2022年9月1日 参加人数：11名

★カードゲーム『セキュリティ専門家 人狼』

社内で不正を働く【汚職者】及びそれに加担する【ブラックハットハッカー】陣営と、緊急時における対応機能を有した専門的な組織【CSIRT】陣営が、自陣を勝利に導くゲーム

★ボードゲーム『Malware Containment』

CSIRTとしてそれぞれに応じた役割を時間内に行い、組織内のマルウェアに感染した端末を封じ込めるゲーム。

70777L 12:30 受付開始
13:00 開始 ~17:00頃 終了予定※
※ゲーム進行によって変更あり

体験1 (13:10~14:55 予定)

- 『セキュリティ専門家 人狼』の体験
「人狼」ゲームでサイバーセキュリティを学ぼう！
- 現役ITエンジニアからの解説・講演
ゲームの体験をより深めるため、サイバーセキュリティの基礎などを解説します。

SECURE WOLF

体験2 (15:05~16:50 予定)

- 『MALWARE CONTAINMENT』(ボードゲーム)の体験
セキュリティ専門家チームの一員となって、コンピュータウイルスを封じ込める！

MALWARE CONTAINMENT

第1回
サイバーセキュリティ・スクール ゲーム編
令和4年9月1日(木)
13:00~17:00
参加費 無料

3-1. サイバーセキュリティ人材の発掘・育成

●サイバーセキュリティ・スクール（CTF編）

セキュリティに関する問題をクイズ形式で出題、チーム戦でクイズを解いて点数を競うイベントを会場及びオンラインのハイブリッドで開催。
(対象者は学生中心。)

また、2023年1月21日に「CTFワークショップin大阪」も開催。参加人数は17名。

開催日：2022年9月15日 参加人数：85名

プログラム

1. 講演

・「海外大学院（米国カーネギーメロン大学）での世界に通用するセキュリティエンジニア教育」

→学習環境やカリキュラムなどに加え、学生の国別構成や卒業生の進路・待遇などを説明。

・「セキュリティ業務の現状と魅力」

→セキュリティ業務がエンジニアだけのものではなく、幅広い分野、業種の業務に渡っていることや常に新しい課題にチャレンジできる点などの魅力を説明。

(Capture The Flagの略で、専門知識や技術を駆使して隠された答え（Flag）を見つけだし、合計得点を競い合う)

2. CTF

3～4人のチームに分けて、サイバーセキュリティに関するクイズを解き、合計点数を競う。

3. 解説・表彰

第2回
サイバーセキュリティ・
スクール CTF編
令和4年9月15日(木)
14:00～18:00
参加費無料

「サイバー空間からの挑戦状!仲間とともに立ち向かえ!」

Challenge 0 Solves
Q1 ANIMAL 80
Challenge 0 Solves
Q2 証拠写真 [tech] 150

あなたにはこの問題が解けますか?

だいちにてんちり

Capture The Flagの略で旗取りゲームのことです。専門知識や技術を使って、隠されている答えを見つけ出し、獲得した合計点数を競います。丁寧な解説と演習を通していろいろなセキュリティ技術を体験できます。CTFが初めての方を対象としておりますので、安心してご参加下さい。

3-1. サイバーセキュリティ人材の発掘・育成

●AIセキュリティセミナー

生成AI等最新の話題を含め、AIセキュリティの重要性、現在の問題点、実践的な対策戦略について解説する。

日時 2023年9月13日(水) 13:00~17:00
(交流会: 17:10~18:40)

会場 ブリーゼプラザ 小ホール

主催 一般財団法人関西情報センター

協力 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局
(近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人
関西情報センター)

基調講演:「AIの進化とサイバーセキュリティへの影響」
(国研)情報通信研究機構 主席研究員 伊東 寛 氏

講演1:「ビジネスに安心して使える生成AI」
第1部:「業務で使える生成AI ~日本語LLMの観点から~」
日本電気株式会社データサイエンスラボラトリー 小山田 昌史 氏

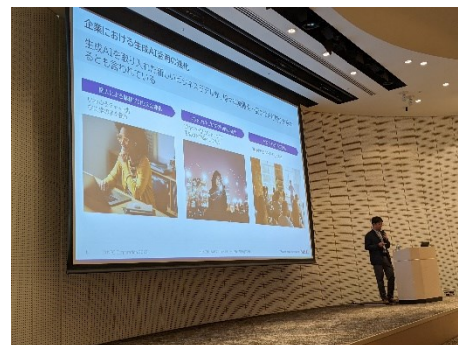
第2部:「生成AIのセキュリティ」
日本電気株式会社サイバーセキュリティ戦略統括部 角丸 貴洋 氏

講演2:「AIの利活用におけるリスクとその対策」
NRIセキュアテクノロジーズ株式会社
研究開発センターサービス開発推進部 西田 助宏 氏

Q&A・ディスカッション
ディスカッションコーディネータ
神戸大学大学院 森井 昌克 氏



The banner features a dark blue background with a grid pattern and glowing data points. A hand in a dark suit is pointing with a blue pen towards the text. The text is white and red. In the top left, the logo 'KiiS' is visible with the text '一般財団法人関西情報センター' below it. In the top right, a red box contains the text '参加無料' and '懇親会は有料 (¥3,000-)'. The main title 'AIセキュリティセミナー' is written in large white characters. Below the title, the date '2023年9月13日 水' is shown in white and red. The time 'セミナー 13:00~17:00' and '懇親会 17:10~18:40' is shown in white. The location 'ブリーゼプラザ 小ホール' is shown in white. The background also features a faint image of a person's hand pointing at a screen.



3-1. サイバーセキュリティ人材の発掘・育成

● 情報セキュリティ・マネジメントセミナー

「情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）」

「情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）」

「プライバシーマーク（Pマーク）制度」

企業がセキュリティ対策を講じることができる人材の確保・育成とともに、自社がサイバーセキュリティや個人情報保護等の制度導入を促進することを目的とする各制度を普及啓発するセミナーを年2回開催。

● YouTubeLiveによるオンラインセミナー

プログラム	第1回講演者 (2020/7/31)	第2回講演者 (2021/2/3)	第3回講演者 (2021/7/5)	第4回講演者 (2021/12/20)
基調講演	大阪経済大学 准教授 金子 啓子 氏	大阪大学 情報セキュリティ本部 教授 猪俣 敦夫 氏	第一法律事務所 弁護士 福本 洋一 氏	明治大学 教授 湯浅 壘道 氏
情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）制度の紹介	独立行政法人情報処理推進機構（IPA） 田口 聡 氏	独立行政法人情報処理推進機構（IPA） 長谷川 智香 氏	独立行政法人情報処理推進機構（IPA） 長谷川 智香 氏	独立行政法人情報処理推進機構（IPA） 長谷川 智香 氏
登録セキスペ資格活用企業の声	株式会社読売システック 柿沼 喬太 氏	プラスエス 大久保 茂人 氏	株式会社日立システムズ 宇野 文康 氏	株式会社JMDC 足立 昌聰 氏
情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）制度の紹介	一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC） 成田 康正 氏	一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC） 成田 康正 氏	一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC） 成田 康正 氏	一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC） 成田 康正 氏
ISMS取得企業事例紹介	アイテック阪急阪神株式会社 青木 泰雄 氏	アイコム株式会社 小路山 憲一 氏	株式会社地域計画建築研究所 畑中 直樹 氏	株式会社エイワット 柴田 政明 氏
プライバシーマーク（Pマーク）制度の紹介	一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC） 戸田 洋平 氏	一般財団法人関西情報センター（KIIS） 上原 隆浩 氏	一般財団法人関西情報センター（KIIS） 上原 隆浩 氏	一般財団法人関西情報センター（KIIS） 上原 隆浩 氏
Pマーク取得企業事例紹介	株式会社ニッセン 半邊 郁子 氏	紀陽情報システム株式会社 和田 好文 氏	NCS&A株式会社 尾崎 真次 氏	株式会社テクノアイ 田中 秀範 氏

3-1. サイバーセキュリティ人材の発掘・育成

● 学生向け「サイバーセキュリティ体験講座（入門編）」

サイバーセキュリティに興味がある学生等を対象に、セキュリティ人材の裾野を広げることを目的とした講演及び演習を実施。テーマは「フィッシング詐欺対策」。

開催日：2024年9月4日

参加人数：約70名（現地及びオンライン）

- 講話「サイバーセキュリティの学び方」
サイバーセキュリティの原則や基本的概念、スキルを習得するための学習方法等についてご講演いただきました。
- 講義「あなたも騙される？身近に潜むフィッシング攻撃の脅威」
フィッシング攻撃について、その手口や対策、被害に遭ったときの対処法等についてご講義いただきました。
- 演習「フィッシング対策の実機演習」
参加者自身のPCを使って演習用の模擬フィッシングメールを解析し、フィッシングに利用される手口や対策技術を学んでいただきました。



学生向け

「サイバーセキュリティ体験講座（入門編）」

参加費 無料

～ 初歩から学ぶフィッシング詐欺の仕組みと対策 ～

日時
令和6年
9月4日(水)
14:00～17:00
受付：13:30～

対象人数 会場：50名 / オンライン：50名 (先着順、定員になり次第締め切ります。)

開催形式 会場及びオンライン (Web会議システム「Zoom」)

会場 AP大阪駅前 APホール1 (大阪市北区梅田1-12-12 東京建物梅田ビルB2F)

対象者 サイバーセキュリティに興味がある高校生、高専生、専門学校生、大学生、大学院生

持ち物 インターネット接続可能なPC (推奨OS: Windows11 / 推奨Webブラウザ: Microsoft Edge、Google Chrome)
※上記以外のPCでも参加可能ですが、一部の演習に参加できない可能性があります。ご了承ください。
※インターネット環境は会場でご用意いたします。

開会挨拶 14:00-14:05

講話 14:05-14:30 「サイバーセキュリティの学び方」
特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 教育部会
株式会社ラック 新規事業開発部 主任研究員
長谷川 長一 氏

講義 14:30-15:00 「あなたも騙される？身近に潜むフィッシング攻撃の脅威」
特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 教育部会
株式会社日立製作所 情報セキュリティリスク統括本部 主任技師
青木 隆 氏

演習 15:05-17:00 「フィッシング対策の実機演習」
特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会 教育部会
マイクロソフト カスタマープロテクション リスクマネージャー
堀内 由梨香 氏
演習用の模擬フィッシングメールを解析することで、フィッシングに利用される手口や対策技術を学びます。

お申し込み・詳細はこちら▶ URLまたは、右の二次元コードからお申し込みください。
申込フォーム: https://docs.google.com/forms/d/1F4pQLSCAGS9ECSX79Gqiv3_N3MkP1fH9p8SvYJQWJwZyG1Ng/viewform?usp=send_link
申込期限: 令和6年8月29日(木) 17時まで

◆お申し込みの方へ
【個人情報保護方針】参加申込み時に取得した個人情報、本講演への参加申込みの受付及び今後のサイバーセキュリティ・ネットワークの事業運営に関し、必要な範囲にのみ使用し、第三者に開示・提供・提供は行いません。

本件問い合わせ 総務省 近畿総合通信圏 サイバーセキュリティ室 TEL.06-6942-8584 / e-mail:renkei-kikakunki@soumu.go.jp

後援: 独立行政法人情報処理推進機構 協力: 特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会

3-1. サイバーセキュリティ人材の発掘・育成

●サイバーインシデント演習in京都・大阪

中小企業や団体等の経営層、セキュリティ責任者及び情報システム運用担当者の方等を対象に、インシデント対応のノウハウの習得を通じて、サイバーセキュリティレベルの向上を図ることを目的として開催。

【京都】開催日：2024年11月28日 参加人数：26名

【大阪】開催日：2025年3月6日 参加人数：47名

プログラム

第1部サイバーセキュリティ講演 【13:30~14:30】

■「サイバー攻撃の情勢及び対応策について」
昨今話題となっているインシデント事例などを紹介しながらサイバー攻撃による被害拡大を最小限にとどめるインシデント対応の流れを解説します。

第2部サイバーセキュリティ演習 【14:30~17:00】

■「セキュリティ事件・事故発生時の効果的な対応について」
・第1部の内容を踏まえ、参加者によるグループワークを実施します。
机上演習として疑似的なインシデント対応を体験いただき、インシデント発生から対応の検討、評価までのサイクルを、参加者が互いにディスカッション・意思決定しながら進めていく形をとります。
・またグループごとに配したパソコンを使用してインシデントとなりうるリスクを疑似体験して、どのようにサイト誘導され、情報が盗まれるのかについて理解を深めます。

※2024年2月21日に実施した演習とは異なるテーマで実施いたします。
※本演習に参加される皆様同士でぜひ名刺交換いただければと存じます。(必須ではございません)
当日は名刺をご持参いただくことをお勧めいたします。

講師

株式会社川口設計
代表取締役 川口 洋氏

2002年 大手セキュリティ会社に社内のインフラシステムの維持運用業務ののち、セキュリティ監視センターに配属
2013年~2016年 内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)に向向。行政機関のセキュリティインシデントの対応、一般国民向け普及啓発活動などに従事。
2018年 株式会社川口設計 設立。Hardening Projectの運営や講演活動など、安全なサイバー空間のため日夜奮闘中。



第1部では、「サイバー攻撃から事業を守るためにやるべきこと」と題してご講演いただきました。講師の川口氏は初めに具体的な事例を挙げ、技術的課題だけではなく組織的課題に手を付けることの重要性をお話された後、「備えていないことは対処できない。情報を仕入れて正しく対処することが重要である。」と述べられました。

第2部では、「ランサムウェアの脅威」を想定したシナリオで、講師から提示される状況に沿って、初動対応、外部への情報提供、望ましいデータバックアップのあり方、役員への報告、公表すべき内容、機器の脆弱性等、グループでどう対応すべきか議論し発表を行いました。



3-1. サイバーセキュリティ人材の発掘・育成

● 経営者向けインシデント対応机上演習 in 堺・兵庫

企業においてセキュリティインシデントが発生した場合には、経営者は被害とその影響範囲を最小限に抑えて事業継続を確保する必要があり、そのためには予め対応手順の整備や実際に発生した際の経営者による冷静で的確な対応が必要。本演習では、サイバー攻撃によるセキュリティインシデントの対応（担当者への指示・判断、顧客対応等）について学ぶ。

日時 2025年2月13日(木)10:00～13:00
会場 堺市産業振興センター 5階 コンベンションホール
共催 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局（近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター）、堺市、(公財)堺市産業振興センター、(独)情報処理推進機構
申込者 16名
講師 ビットフロー・マネジメント株式会社 代表取締役 原 一矢 氏


日時 2025年2月14日(金)10:00～13:00
会場 神戸市産業振興センター 802・803会議室
共催 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局（近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター）、(公社)兵庫工業会、(公財)神戸市産業振興財団、(独)情報処理推進機構
申込者 17名
講師 株式会社ブルーオーキッドコンサルティング 取締役 野村 陽子 氏

経営者向け

セキュリティインシデントの被害を最小限に

インシデント対応机上演習

サイバー攻撃を受けた場合の担当者への指示・判断、顧客対応等、経営者がとるべきインシデント対応の一連の流れを体験できます。ランサムウェア感染事故に遭った際の対応や、事前の備えについて、実際に役立てることができるので、ぜひご参加ください！



ロールプレイ形式で、シナリオに基づいた以下の机上演習を行います。

プログラム概要

- [1]講師 セキュリティインシデントの対応のポイントを学びます。
- [2]演習1(初動対応) 事例企業において発生したランサムウェア感染時の初動対応について、演習を交えてディスカッションを行います。
- [3]演習2(復旧・再発防止、公表) ランサムウェア感染からの業務・システムの復旧や再発防止・公表について、演習を交えてディスカッションを行います。

2025年2月13日(木) 会場 堺市産業振興センター 5階 コンベンションホール
10:00-13:00(開場 9:30)

中小企業・小規模事業者の皆様へ

中小企業のための セキュリティインシデント 対応の手引き

情報漏えい？ ウイルス感染？ システム停止？
どうしたらいいの!?



○使用教材

・中小企業のためのセキュリティ
インシデント対応の手引き

<https://www.ipa.go.jp/security/guide/sme/about.html>

実践的な演習
参加費無料
参加者間の交流も

サイバーセキュリティ 演習 in 兵庫

開催日	場所
2025年2月14日(金)	神戸市産業振興センター 802・803会議室 神戸市中央区東川崎町1-8-4

10:00～13:00
経営者向け

インシデント
対応机上演習

先着
20名

サイバー攻撃を受けた場合の担当者への指示・判断、顧客対応等、経営者が取るべきインシデント対応の一連の流れを体験できます。ランサムウェアの感染時の初動対応や事前の備えに役立つ内容です。ぜひご参加ください！

3-1. サイバーセキュリティ人材の発掘・育成

●セキュリティ担当者向けリスク分析ワークショップ in 堺・兵庫

企業を取り巻くリスクは、事業内容や職場環境、ITの利用状況などによって異なるため、リスクの高いものを特定し、優先順位付けしたリスク対策計画を立案することで効率的なセキュリティ対策を行うことが可能に。想定企業を舞台に情報資産の洗い出し、リスク値の算定、対策の検討といった詳細リスク分析について演習を通じて学ぶ。

日時 2025年2月13日(木)14:00～17:00
会場 堺市産業振興センター 5階 コンベンションホール
共催 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局（近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター）、堺市、(公財)堺市産業振興センター、(独)情報処理推進機構
申込者 14名
講師 ビットフロー・マネジメント株式会社 代表取締役 原 一矢 氏

日時 2025年2月14日(金)14:00～17:00
会場 神戸市産業振興センター 802・803会議室
共催 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局（近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター）、(公社)兵庫工業会、(公財)神戸市産業振興財団、(独)情報処理推進機構
申込者 29名
講師 株式会社ブルーオーキッドコンサルティング 取締役 野村 陽子 氏

情報セキュリティ担当者向け 把握・分析・対策で情報資産を守る！

リスク分析ワークショップ

セキュリティ対策を行うために重要なリスク分析について情報資産の洗い出しから対策まで、一連の流れをワークショップ形式でわかりやすく学びます。「重要な情報資産ってどれのこと？」「リスク分析の方法がわからない」といった方は、ぜひご参加ください！

プログラム概要

- 想定企業を舞台に、下記の段階ごとの考え方や方法をディスカッションしながら学びます。
- [1] 情報資産の洗い出し
どのような情報資産があるか洗い出して重要度を判断
- [2] リスク値の算定
優先的・重点的に対策が必要な情報資産を把握
- [3] 情報セキュリティ対策の決定
リスクの大きな情報資産に対して必要とされる対策を決める

2025年2月13日(木) 会場 堺市産業振興センター 5階 コンベンションホール
14:00-17:00開場 13:30

中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン 第3.1版



IPA 独立行政法人情報処理推進機構 セキュリティセンター

○参考教材

・中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン

<https://www.ipa.go.jp/security/guide/sme/about.html>

実践的な演習 参加費無料 参加者間の交流も

サイバーセキュリティ演習 in 兵庫

開催日	場所
2025年2月14日(金)	神戸市産業振興センター 802・803会議室 神戸市中央区東川崎町1-8-4

14:00～17:00 システム・セキュリティ担当者向け

「リスク分析ワークショップ」 先着40名

セキュリティ対策を行うために重要なリスク分析について、情報資産の洗い出しやリスク値の算定、対策の決定までの一連の流れをワークショップ形式でわかりやすく説明します。「重要な情報資産ってどれのこと？」「リスク分析ってどうやったらいいの？」という方は、ぜひご参加ください！

3-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

●サイバーセキュリティ地域別セミナー（2府5県、計7回）

近畿2府5県で各1回ずつ、サイバーセキュリティ月間（2023年2月1日～3月18日）に合わせて、サイバーセキュリティの取組機運向上及び域内関係者間のつながりを深めることを目的とした地域別セミナーを計7回開催。

●地域別セミナー概要

開催趣旨：

中小企業の意識向上と、域内のセキュリティ関係者間のつながりを深めることを目的として、地域別にセキュリティセミナーを開催。

日時：2023年2月10日～3月18日

場所：各府県での会場(リアル開催のみ)

主催：(一財)関西情報センター

協力：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局

共催・後援・協力（予定）：

府県庁、警察本部、商工会議所連合会、経済同友会、経営者協会、工業会、中小企業団体中央会、情報系業界団体など



日程・府県	開催場所等	基調講演者
2月27日(月) 大阪府	大阪商工会議所 白鳳の間	奈良先端科学技術大学院大学 教授 門林 雄基 氏
3月6日(月) 奈良県	BONCHI 3階会議室	大阪大学 教授 猪俣 敦夫 氏
3月7日(火) 京都府	京都リサーチパーク ルーム1	神戸大学 教授 森井 昌克 氏
3月9日(木) 兵庫県	三ノ宮コンベンションセンター(SCC)	立命館大学 教授 上原 哲太郎 氏
3月10日(金) 福井県	福井市地域交流プラザ 601B+C	北陸先端科学技術大学院大学副 学長 教授 丹 康雄 氏
3月13日(月) 滋賀県	大津市民会館 小ホール	京都産業大学 教授 秋山 豊和 氏
3月15日(水) 和歌山県	和歌山ビッグ愛 801	和歌山大学 教授 川橋 裕 氏

プログラム内容：①有識者による基調講演、②セキュリティソリューション提供事業者、③地元のセキュリティの取り組み紹介、④情報処理安全確保支援士によるセキュリティコンサル事例紹介、⑤府県警察による被害事例紹介、⑥サイバー保険の紹介等

詳細はこちらのHPをご覧ください<https://kansaidx.kiis.or.jp/event/2022regionalseminar/>

3-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

● 学校対抗CTF大会

サイバーセキュリティに興味がある学生等を対象に、セキュリティ人材の裾野を広げることを目的として、講演及びCTFを実施。同じ学校に在籍している最大3名1組でチームを組んでCTFに挑戦。

※CTFとは、Capture the Flagの略で旗取りゲームのことです。セキュリティに関する謎解き問題を解いていき、獲得した合計点数を競います。

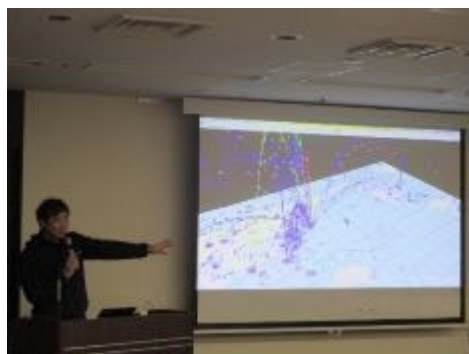
開催日：2023年12月16日 参加人数： 313名
(会場44名、オンライン269名)

講演：国立研究開発法人情報通信研究機構

サイバーセキュリティ研究所 副研究所長 井上 大介 氏

CTF：西日本電信電話(株)セキュリティプリンシパル 粕淵 卓 氏

(協力 猪俣敦夫氏 (大阪大学教授)、WEST-SEC、上原哲太郎氏 (立命館大学教授) 大阪大学CTFサークルWaniHackase、(株)マクニカ、小出洋氏 (九州大学教授) 名古屋大学CTFサークル IrOnMaiden、森井昌克氏 (神戸大学大学院教授))



学校対抗CTF大会

～集まれ未来のサイバーセキュリティ人材～

2023年12月16日(土) 13:00～
(12:30受付開始)

参加費 無料

6月に開催した西日本横断サイバーセキュリティ・グランプリは大盛況のうちに幕を閉じました。今回は学校チーム対抗のCTFイベントを開催します。自身の知識を確かめたい!、技術の研鑽をしたい!という方も、サイバーセキュリティに興味はあるけれどもあまり詳しくないという方も、どなたでも参加していただけます。講演やCTFを通じて楽しくサイバーセキュリティを学び、他のチームとの交流を深めてください!

※CTFとは、Capture the Flagの略で旗取りゲームのことです。セキュリティに関する問題を、専門知識や技術を使って隠されている答えを見つけ出し、獲得した合計点数を競うものです。

対象者
サイバーセキュリティに興味がある
高校生、高専生、専門学校生、
大学生または大学院生
2名または3名のメンバーでチームを組んで
参加していただきます。詳細は画面をご覧ください。

開催場所
【会場】 AP大阪茶屋町 会議室H1J (定員30チーム先着順)
(大阪府大阪市北区茶屋町1-27 ABC-MART梅田ビル 8F)
または
【オンライン】 ZOOM (定員上限なし)

3-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

●サイバーセキュリティ・カフェ

地方都市における中小企業等のサイバーセキュリティ担当者を対象に、サイバー攻撃の現状やセキュリティ対策などの【ミニ講演】とあわせ、質問や相談を気軽にできる【座談会】を会場とオンラインのハイブリッドで開催。

サイバーセキュリティ・カフェ in 紀南 プログラム

●ミニ講演 1

「ネット犯罪等の防止について」

和歌山県田辺警察署 地域課 巡査部長
神保 元希 氏

●ミニ講演 2

「サイバー攻撃の現状と最新のセキュリティ対策」

クオリティソフト株式会社 営業本部
アカウントマネージャー 小山 裕輔 氏

●座談会

モデレーターNPO情報セキュリティ研究所
代表理事 臼井 義美 氏

パネリスト 神保 元希 氏 ・ 小山 裕輔 氏

●対象者

主に田辺市、田辺市周辺地域の中小企業、団体等のサイバーセキュリティに関心のある方やサイバーセキュリティ担当者など。

サイバーセキュリティ・ カフェ

in 紀南

参加費無料

～まだ他人事だと思っ
ていませんか？
危険はすぐそこま
で来てますよ！～

「サイバーセキュリティ、なんやそれ？」

そんなあなたの疑問にお答えします。
難しい用語を使わず簡単に解説！
お気軽にご参加下さい！

日時

令和4年**12月15日(木)**
14:30～16:40 (終了予定)

開催形式

会場 (定員20名) 及びオンライン (Webex)

開
催
実
績

2020年12月 カフェin福知山 (京都府福知山市) : 15名

2021年11月 カフェin奈良 (奈良県大和郡山市) : 30名

2022年12月 カフェin紀南 (和歌山県田辺市) : 32名

2021年 3月 カフェin彦根 (滋賀県彦根市) : 7名

2022年 1月 カフェin但馬 (兵庫県豊岡市) : 38名

3-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

●今すぐできるサイバーセキュリティセミナー

セキュリティ対策は「どこから始めたらよいかわからない」「コストが掛かり過ぎる」といった中小企業の声が多く聞かれる状況。そのような中小企業の方々に向けて「今すぐできるサイバーセキュリティ」と題し、コスト0円からできる最低限やっておきたいセキュリティ対策から、手遅れになる前に活用しておきたい支援制度等を紹介するセミナーを堺市及び公益財団法人堺市産業振興センター等と共催で開催。

日時 2024年10月10日（木）14:00～16:00
形式 ハイブリッド開催
会場 堺市産業振興センター 4F セミナー室1
共催 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局（近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター）、堺市、(公財)堺市産業振興センター、(独)情報処理推進機構
申込者 69名（対面・オンライン）

第1部 今すぐ見直そう、実は簡単にできるセキュリティ対策！

～コスト0円、5分の作業で被害を9割削減～

株式会社ブルーオーキッドコンサルティング

取締役 情報処理安全確保支援士・中小企業診断士 野村 陽子 氏

第2部 手遅れになる前に！支援策を活用したサイバーセキュリティ対策

独立行政法人情報処理推進機構 セキュリティセンター

普及啓発・振興部 エキスパート 福岡 かよ子 氏



今すぐできる サイバーセキュリティセミナー

日時 2024年10月10日(木) 14:00～16:00

参加形式 ハイブリッド開催(会場参加のみ30名限定先着順)

会場場所 堺市産業振興センター 4F セミナー室1
(大阪府堺市北区長曾根町183-5)

対象 中小企業等の経営層及び現場担当者

共催 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局
(近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)
堺市、公益財団法人堺市産業振興センター、独立行政法人情報処理推進機構

参加無料

DX

当日のプログラム

主催者挨拶

第1部

「今すぐ見直そう、実は簡単にできるセキュリティ対策！」
～コスト0円、5分の作業で被害を9割削減～

何から始めていいかわからない方へ最低限やっておきたい簡単にできるセキュリティ対策をお伝えします。
講師：株式会社ブルーオーキッドコンサルティング 取締役 情報処理安全確保支援士・中小企業診断士 野村 陽子氏

第2部

手遅れになる前に！支援策を活用したサイバーセキュリティ対策

サイバーセキュリティお助け隊など手遅れになる前に活用しておきたい支援策をご紹介します。

講師：独立行政法人情報処理推進機構 セキュリティセンター 普及啓発・振興部 シニアエキスパート 横山尚人氏

関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局からのご紹介

名刺交換会（会場参加の希望者のみ）

お申込先

下記URLまたは右のQRコード
を読み込みお申込ください。
申込期間 10月7日(月)23:59
<https://info.goa.or.jp/online/kyasei/seminar>

申込先URL



申込みに関する 問い合わせ先

〈セミナー運営事務局〉株式会社前併合研究所
担当：横田・横山
TEL:050-1721-0728
email: px-hssc-seminar@ioa.go.jp

【個人情報の取扱い】 ご提供いただいた個人情報は、事務局の合併統合研究等ならびに共催者が、本セミナーの運営においてのみ利用し、事務局においてその先送りに関する取扱いを一切行いません。ご本人の同意なしに事務局及び共催者へ、第三者への提供は行いません。

3-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

●サイバーセキュリティセミナー

今からでも間に合う！中堅・中小企業が大阪・関西万博までにやっておきたいセキュリティ対策！

近年、国際的に注目を集める大規模イベントの開催を捉えたサイバー攻撃が発生しており、大阪・関西万博においてもその可能性は否定できない状況。また、大企業を標的としたサイバー攻撃のみならず、対策が相対的に遅れている中小企業を対象とするサイバー攻撃が顕在化。本セミナーでは、中堅・中小企業の方角に大阪・関西万博期間に想定されるサイバー犯罪や今からでも間に合う大阪・関西万博までにやっておきたいセキュリティ対策等を説明するセミナーを大阪商工会議所、大阪府警察本部警務部高度情報推進局 サイバーセキュリティ対策課等と共催で開催。

日時 2025年2月19日(水)14:00～16:00

形式 ハイブリッド形式

会場 ナレッジキャピタルカンファレンスルームC05

共催 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局（近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター）、大阪商工会議所、大阪府警察本部警務部高度情報推進局 サイバーセキュリティ対策課、(独)情報処理推進機構

申込者 72名（対面・オンライン）

第1部 中堅・中小企業も危ない！大阪・関西万博期間に想定されるサイバー犯罪！

大阪府警察本部 警務部 高度情報推進局 サイバーセキュリティ対策課
管理官 警視 鎌谷 輝明 氏

第2部 今からでも間に合う！中堅・中小企業が大阪・関西万博までにやっておきたいセキュリティ対策！

Nextplanning合同会社 代表 渡邊 功 氏

第3部 手遅れになる前に！商工会議所サイバーセキュリティお助け隊サービス！

大阪商工会議所 経営情報センター 課長 野田 幹稀 氏

※終了後、登壇者3名による簡易個別相談会を実施

サイバーセキュリティセミナー

**今からでも間に合う！
中堅・中小企業が大阪・関西万博までに
やっておきたいセキュリティ対策！**

近年、国際的に注目を集める大規模イベントの開催を捉えたサイバー攻撃が発生しており、大阪・関西万博においてもその可能性は否定できない状況です。また、大企業を標的としたサイバー攻撃のみならず、対策が相対的に遅れている中小企業を対象とするサイバー攻撃が顕在化してきています。本セミナーでは、中堅・中小企業の方角に大阪・関西万博期間に想定されるサイバー犯罪や今からでも間に合う大阪・関西万博までにやっておきたいセキュリティ対策等をご説明します。皆様のご参加をお待ちしております。

日時 2025年2月19日 水 14:00～16:00

開催形式 ハイブリッド開催（会場参加先着30名限定）

会場 ナレッジキャピタルカンファレンスルームC05
（大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 北館内）

参加
無料

第1部 14:05～14:25
中堅・中小企業も危ない！大阪・関西万博期間に想定されるサイバー犯罪！
大阪府警察本部 警務部 高度情報推進局 サイバーセキュリティ対策課 管理官 警視 鎌谷 輝明 氏

第2部 14:25～15:45
今からでも間に合う！
中堅・中小企業が大阪・関西万博までにやっておきたいセキュリティ対策！
Nextplanning合同会社 代表 渡邊 功 氏

第3部 15:45～15:55
手遅れになる前に！商工会議所サイバーセキュリティお助け隊サービス！
大阪商工会議所 経営情報センター 課長 野田 幹稀 氏

終了後 16:00～16:30
登壇者3名による簡易個別相談会（会場参加の希望者のみ・予約不要）

お申し込みはこちらから！
<https://www.ansai.or.jp/2025/02/19/cyber-security-seminar/>
2025.02.19 14:00～16:00 大阪府警察本部 警務部 高度情報推進局 サイバーセキュリティ対策課 共催
申込期限：2025年2月16日（日）23：59まで



【個人情報保護方針】ご提供いただいた個人情報、セミナー運営事務局 船井総合研究所並びに共催者が、本セミナーの運営においてのみ使用し、事務局においてその保護について責任を負うこととし、ご本人の同意なしに取扱い及び共有せず、業務以外の第三者に開示、提供することはありません。

■共 催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局（近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター）
大阪商工会議所、大阪府警察本部警務部高度情報推進局サイバーセキュリティ対策課、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）
■後 援：公益財団法人船井総合研究所
■問合せ：近畿経済産業局 地域経済部 次世代産業、情報政策課 TEL：06-6966-6008 / email：bzj.kinki-joesad-dx@nrets.go.jp



3-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

●サイバーセキュリティセミナー in 兵庫

サイバー攻撃のターゲットは中小企業へ～狙われるワケとその対策～

中小企業はセキュリティ対策の脆弱性等の理由から、サイバー攻撃の対象となりやすく、早急なセキュリティ対策が求められています。なぜ中小企業が標的になるのか、どのような被害が発生しているのかなどについて、理由や被害内容を交えて解説。さらに、手遅れになる前に取り組みたい対策や支援策も紹介するセミナーを(公社)兵庫工業会、(公財)神戸市産業振興財団等と共催で開催。

日時 2025年1月22日(水)14:00～16:15

形式 ハイブリッド形式

会場 神戸市産業振興センター 802・803会議室

共催 関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局（近畿経済産業局、近畿総合通信局、(一財)関西情報センター）、(公社)兵庫工業会、(公財)神戸市産業振興財団、(独)情報処理推進機構

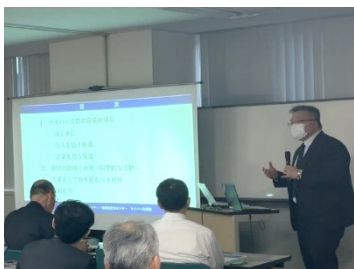
申込者 107名（対面・オンライン）

第1部 現場最前線！中小企業のサイバーセキュリティ被害の現状！ ～中小企業が狙われるワケと被害内容～

兵庫県警察 サイバーセキュリティ・捜査高度化センター サイバー企画課
警部 柳 英俊 氏

第2部 手遅れになる前に！支援策を活用したサイバーセキュリティ対策

独立行政法人情報処理推進機構(IPA) セキュリティセンター
普及啓発・振興部 研究員 鈴木 春洋 氏



共催：関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局
(近畿経済産業局、近畿総合通信局、一般財団法人関西情報センター)
公財神戸市産業振興財団、(公社)兵庫工業会、(独)情報処理推進機構
独立行政法人情報処理推進機構
協力：兵庫県警察

サイバーセキュリティセミナー in 兵庫

サイバー攻撃のターゲットは中小企業へ ～狙われるワケとその対策～

令和6年上半年期のランサムウェア被害は、大企業よりも中小企業の方が多い状況にあります。中小企業はセキュリティ対策の脆弱性等の理由から、サイバー攻撃の対象となりやすく、早急なセキュリティ対策が求められています。本セミナーでは、なぜ中小企業が標的になるのか、どのような被害が発生しているのかなどについて、理由や被害内容を交えて解説します。さらに、手遅れになる前に取り組みたい対策や支援策も紹介します。皆様のご参加をお待ちしております。

参加無料

日時 2025年1月22日(水) 14:00-16:15

参加形式 ハイブリッド開催 (会場参加30名先着限定)

会場 神戸市産業振興センター 802・803会議室 (〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-4)

ポイント

- なぜ今中小企業が標的になるのか
- 中小企業の被害状況
- ランサムウェアの侵入手口
- 中小企業が取り組むべき対策と支援策 等

第1部 現場最前線！中小企業のサイバーセキュリティ被害の現状！ ～中小企業が狙われるワケと被害内容～

サイバー空間をめぐる中小企業の被害状況や脅威について中小企業が狙われる理由も含めてご紹介いたします。
講師：兵庫県警察 サイバーセキュリティ・捜査高度化センター サイバー企画課 警部 柳 英俊 氏

第2部 手遅れになる前に！支援策を活用したサイバーセキュリティ対策！

コスト0円でできる基本的なセキュリティ対策から手遅れになる前に活用していただきたい支援策等をご紹介します。
講師：独立行政法人情報処理推進機構セキュリティセンター 普及啓発・振興部 研究員 鈴木 春洋 氏

3-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

●サイバーセキュリティ・セミナーin京都

小規模・中小企業からの相談を受け、助言を行う経営支援員*やシステム関連部署職員等対象に、サイバー犯罪を受けた際に発生する損害や、実際に取るべきサイバーセキュリティ対策についての講演を通じて知見の習得を図り、日々の伴走支援業務に生かしていただくことで、管内の中小企業等のサイバーセキュリティ対策の向上につなげる。

開催日：2024年10月31日

○講演①「サイバー攻撃を受けるとお金がかかる」

講師：日本ネットワークセキュリティ協会

調査研究部会インシデント被害調査WGリーダー 神山 太郎 氏

「インシデント損害額調査レポート」を基に、インシデントが発生した場合の対応の流れや各種損害について、実際の事例を交えながらご説明いただきました。

○講演②「中小企業におけるサイバーセキュリティ対策」

講師：神戸大学大学院 名誉教授 森井 昌克 氏

現実社会と同様にサイバー社会でも安心・安全を求めることの重要性や、中小企業のセキュリティ対策として何ができ、何をしなければならないのかについてご説明いただきました。



*「小規模事業者の経営に係る指導を行う者であって、小規模事業者に対して効果的かつ適切な指導を行うために必要な知識及び経験を有する者として経済産業省令で定める要件に該当する者」（商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律）

3-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

●サイバーセキュリティ・セミナーin大阪

中小企業や団体等の経営層、セキュリティ責任者及び情報システム運用担当者の方等を対象に、最新のサイバー犯罪やその被害状況、中小企業が取るべき対策を様々な立場・視点から解説いただくことにより 実務担当者から経営層まで幅広い方に、自組織内のサイバーセキュリティ対策について考えていただく契機とする。

開催日：2025年1月15日 参加人数：175名（現地及びオンライン）

○講演①「最新のサイバー犯罪情勢とその対策 ～大阪・関西万博開催に向けて～」

講師：大阪府警察本部 警務部 高度情報推進局 サイバーセキュリティ対策課
管理官 鎌谷 輝明 氏

サイバー犯罪の最新動向や、ランサムウェアをはじめとした、今、企業が対策すべきサイバー犯罪とその対策についてお話しいただきました。

○講演②「中小企業におけるサイバー攻撃・被害の実態と現実的な対策」

講師：大阪商工会議所 経営情報センター 課長 野田 幹稀 氏

最近のサイバー攻撃の概要、様々な攻撃の手口と基礎的な対策、中小企業でのサイバー攻撃被害の実例を交えながら、中小企業が持つべき視点と実践すべき対策についてご説明いただきました。

○講演③「情報システム運用管理者の立場から見たセキュリティ対策について」

講師：大阪商工会議所 経営情報センター 次長 古川 佳和 氏

インターネット事業に携わり、かつ、組織の情報システム運用責任者の視点から見たセキュリティ対策について、いま起きているサイバー攻撃、情報システム担当者として対策すべきポイント、情報システム担当者としてやっておくことという観点でご説明いただきました。



3-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

● 情報セキュリティセミナー

前半にIPA発表の「情報セキュリティ 10 大脅威2023（最新版）」の講演、後半に講演内容に基づいたセキュリティのクイズを出題して、参加者の知識定着と対策のセルフチェックを目的として開催。



**情報セキュリティ
セミナー** in大阪

クイズに答えて
君のセキュリティ知識を
チェックしよう!!!

令和5年3月17日(金)
14:00~16:40 (終了予定)

参加費
無料

講演とクイズの2本立て

サイバーセキュリティの知識定着と対策のセルフチェックに活用しよう!

最新版「情報セキュリティ10大脅威 2023」の講演を聴いて
最新のサイバーセキュリティ情報を手に入れよう!

70777L 13:30 受付開始
14:00 開始~16:40頃 終了予定

1. [個人向け10大脅威]編 (14:10~15:15)

前半に「情報セキュリティ10大脅威 2023」個人向けの講演、
後半に講演内容に関するクイズとその解説を行います。

2. [組織向け10大脅威]編 (15:25~16:30)

前半に「情報セキュリティ10大脅威 2023」組織向けの講演、
後半に講演内容に関するクイズとその解説を行います。

質疑応答 (16:30~16:40)

講演パート講師 大友 更紗(おおとも さらさ)氏

独立行政法人情報処理推進機構(IPA) セキュリティ対策推進部脆弱性対策グループ
経歴: 2018年よりIPAにて、セキュリティ対策の普及啓発活動に従事。「情報セキュリティ10大脅威」の執筆等に関わる。



クイズパート講師 中本 琢也(なかもと たくや)氏

エムオーテックス株式会社 経営企画本部 本部長
経歴: 2004年にエムオーテックスに入社後、開発部門にて自社製品LanScopeシリーズの設計、開発を経験。
2015年に経営企画本部の本部長として、新規事業や海外展開に従事。2017年にMOTEX-CSIRTを構築し、
自社のセキュリティを推進。2021年プロダクトマネージャーに就任。



クイズパート講師 西井 晃(にしい あきら)氏

エムオーテックス株式会社 プロフェッショナルサービス本部 エキスパート
経歴: セキュリティアナリストとして、セキュリティ監視サービスやインシデント対応サービスに従事。
近年では、デジタルフォレンジックによるインシデント調査を実施。



参加者：会場19名、オンライン46名
合計65名

→メンチメーターを利用して、リアルタイムで参加者が
回答して、最後に成績優秀者を発表。

3-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

●サイバーセキュリティ相談窓口の見える化

- ✓ 中小企業がサイバーセキュリティに関して、相談する場合、ITベンダやセキュリティベンダに相談することが多く、本当に自社に必要なセキュリティ対策を検討できていない場合がある。
- ✓ サイバーセキュリティに関する相談先がわからないという中小企業が相談しやすい環境を整えるため、相談窓口をリスト化し、ホームページで情報発信を行う。
- ✓ まずは、第1弾として、産業支援機関や警察などの公的機関を中心としたリストを掲載し、今後拡充を図っていく。

●ホームページ構成案

(1) セキュリティ対策等各種取り組みに関する相談窓口

産業支援機関、よろず支援拠点、経済団体、IT・情報系業界団体など

(2) サイバー攻撃対策支援サービスに関する窓口

大阪商工会議所など

(3) 一般的な情報セキュリティ（主にウイルスや不正アクセス）に関する技術的な相談窓口

情報処理推進機構（IPA）など

(4) サイバー犯罪に関する関西圏2府5県の警察窓口

府県警察本部

(5) インシデント発生時の対応依頼窓口

JPCERT/CC、JNSA

(6) サイバーセキュリティ関連製品・サービス情報

●近畿経済産業局ホームページ

https://www.kansai.meti.go.jp/2-7it/k-cybersecurity-network/210120_3press.html

3-2. 地域におけるコミュニティ形成の支援／情報発信

● 地域セキュリティコミュニティ形成支援

近畿2府5県に在住する個人、所在する企業・団体等が主催するグループが、サイバーセキュリティ関連の教育・普及・啓発や各種勉強会・研修会、地域での人的・組織的ネットワーク拡大に資する活動、市場開拓や受注促進活動を目的とする、複数のメンバーによるコミュニティ活動を支援。

● コミュニティ情報の発信

孤立しがちな中小企業のセキュリティ担当者が、情報収集や悩みを相談できる地域セキュリティコミュニティに参加しやすくすることを目的として、地域セキュリティコミュニティをリスト化し、ホームページで情報発信することで参加しやすい環境を整える。

地域セキュリティコミュニティは、定期的にセキュリティイベント、セミナーや交流会を実施し、スキル、役職等に関係なく、誰でも参加でき、セキュリティについて情報交換や悩みを共有できる場を提供する。

● 近畿経済産業局ホームページ

https://www.kansai.meti.go.jp/2-7it/k-cybersecurity-network/210120_3press.html

- ・総関西サイバーセキュリティLT大会
- ・OWASP Kansai
- ・tktkセキュリティ勉強会 等

● コミュニティ活動支援

地域セキュリティコミュニティ支援事業

令和2年度中小企業サイバーセキュリティ対策促進事業（関西サイバーセキュリティ促進強化事業）



【支援する事業イメージ】

- ① 地域でのサイバーセキュリティ担当者や有識者等の人的ネットワーク形成及び活性化を目的とした交流イベント事業
- ② サイバーセキュリティに関する技術習得や知識習得を目的とした地域での勉強会、研修会事業
- ③ 一般企業や住民等を対象としたサイバーセキュリティ普及啓発セミナー事業

【支援内容】

- ① 会場費及び会場付帯の機材費
- ② 会議費
- ③ 講師謝金、講師旅費
- ④ PRパンフレット作成費用等

【支援例】

福井メディアコンソーシアム
2020年12月22日（火）
キックオフセミナー開催

(参考) 中小企業等における対策の実装

● 経済産業省／総務省／IPA／NICT施策等の地方展開

- ・サイバーセキュリティ経営ガイドライン【経済産業省】
https://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/mng_guide.html
- ・情報セキュリティサービス審査登録制度【経済産業省】
<https://www.meti.go.jp/policy/netsecurity/shinsatouroku/touroku.html>
- ・中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン【IPA】
<https://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/sme/guideline/index.html>
- ・セキュリティ対策自己宣言「SECURITY ACTION」【IPA】
<https://www.ipa.go.jp/security/security-action/>
- ・サイバーセキュリティお助け隊【IPA】
<https://www.ipa.go.jp/security/keihatsu/sme/otasuketai/index.html>
- ・中核人材育成プログラム【IPA】
https://www.ipa.go.jp/icscoe/program/core_human_resource/index.html
- ・実践的サイバー防御演習「CYDER」【NICT】
<https://cyder.nict.go.jp/>
- ・IoT機器調査及び利用者への注意喚起の取組「NOTICE」【NICT】
<https://notice.go.jp/>
- ・小さな中小企業とNPO向け情報セキュリティハンドブック【NISC】
https://www.nisc.go.jp/security-site/blue_handbook/index.html